

令和 5 年度 小学部 4年（Ⅱ課程）生活科 年間指導計画					
単位数 ／配当時 数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
192		4 学年 30名			
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けることができる。（小2 段階） （思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現することができる。（小2 段階） （学・人）自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりすることができる。（小2 段階）			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	（知及技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。（イ安全イ）（小2段階） （思判表力）身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組むことができる。（イ安全ア）（小2段階） （学・人）身近な安全について意欲や自信をもって学んだり、生活に生かすことができる。（小2段階）	（知・技）避難する場所が分かり、静かにクラスでまとまって移動している。 （思・判・表）火災の避難時には煙を吸わないようにタオルを口にあてることが分かり、口にタオルをあてながら避難している。 （主学）「火事」「地震」「避難」の言葉に注目し、知っていることを表現しようとしている。	単元1 【安全】 ○安全のためにきまりを守ろう ・交通安全教室 ・火災避難訓練	・動画やフリップを使って交通安全クイズを行う。 ・教室内に横断歩道に見立てたシートを用意し、動画で正しい横断歩道の渡り方を学習したあと、ひとりずつ実践する。 ・イラストで火災訓練の流れを確認する。火事の様子や避難するときのタオルを口にあてる様子もイメージしやすくする。
	30	（知及技）身近な社会の仕組みや公共施設の使いの方などを知ることができる。（コ社会の仕組みと公共施設イ）（小2段階） （思判表力）教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現できる。（コ社会の仕組みと公共施設ア）（小2段階） （学・人）身近な社会、公共施設について学んだり、生活に生かそうとすることができる。（小2段階）	（知・技）学校内の各教室やその用途を理解しようとしている。 （思・判・表）本を借りる場所は図書館、など公共施設の働きと名称が分かっている。 （主学）学習した公共施設の働きと名称を考え、ワークシートで名称と写真を合致しようとしている。	【社会の仕組みと公共施設】 ○学校探検をしよう ○校外へ出かけよう	・ワークシートをもって、校内探検を行う。実際に各施設にいらっしゃる先生とも挨拶し、理解しやすくする。 ・ワークシートを見て、行きたい場所を指さしで示したり、名称の確認を行うようにする。 ・事前にどんな施設かをホームページや動画で確認し、身近な施設を訪ねる活動を行う。
	25	（知及技）身近な生命や自然について知ることができる。（サ生命・自然イ）（小2 段階） （思判表力）身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとするすることができる。（サ生命・自然ア）（小2 段階） （学・人）自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学ぶことができる。（小2段階）	（知・技）野菜の成長について学習し、その変化を知り、理解しようとしている。 （思・判・表）野菜の栽培を通して、生物に興味や関心をもって、水やりや観察を行いその様子を表現しようとしている。 （主学）野菜の成長による変化を楽しみ、自ら関わりをもとうとしている。	【生命・自然】 ○植物（野菜）を育てよう ○動物園へ行こう	・学年の畑を用意し、苗を植える活動を行う。 ・絵と短い文章がかかる観察シートを使い、観察したことを記録する。 ・iPadで自分で野菜の様子を撮影し、教室で振り返りやすいようにする。
2 学期	32	（知及技）身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。（ア基本的生活習慣イ）（小2段階） （思判表力）必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てることができる。（ア基本的生活習慣ア）（小2段階） （学・人）自分のことに取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。（ア基本的生活習慣）（小2段階）	（知・技）石鹸を使い、丁寧に手を洗おうとしている。 （思・判・表）手を清潔にすることで風邪やその他の感染症等の予防できることを理解し、意識して丁寧に手洗いを行おうとする。 （主学）自ら手を洗ったり、タオルで拭いたりしようする。	【基本的生活習慣】 ○清潔 ・手洗い ・歯磨き ・着替え	・手洗いの流れのイラストを手洗い場に掲示し、意識付けながら毎日の手洗いをを行う。 ・汗をかいたときや汚れたときの不快感を言葉で表現し着替えることを促す。 ・男女の着替えの場所を分け着替えを行う。
	25	（知及技）金銭の扱い方などを知ることができる。（ク金銭の扱いア） （思判表力）身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。（ク金銭の扱いイ） （学・人）身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭を大切に扱おうとすることができる。（小2段階）	（知・技）買い物ごっこや買い物学習を通して、お金の保管の仕方や払い方を知っている。 （思・判・表）買い物ごっこや買い物学習を通して、金銭の取扱いに気をつけ大切に扱うことができている。 （主学）買い物ごっこや買い物学習を通して、できるだけ自分で買い物したり、保管したりしながら、金銭を大切に扱おうとしている。	【金銭の扱い】 ○お金の大切さを考えよう ○買い物へ行こう	・お店屋さんごっこをしよう ・買い物学習（ローソン、コープ美里店）
	30	（知及技）身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。（シ物の仕組みと働きイ） （思判表力）身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとするすることができる。（シ物の仕組みと働きア） （学・人）身近にある物の仕組みや働きについて、自分なりの考えをもち、伝えようとするすることができる。（小2段階）	（知・技）風やゴムの働きを利用したおもちゃ作りを通して、風の力が、物を動かすことができることに気付いている。 （思・判・表）風やゴムの力で動くおもちゃを、工夫して作り表現している。 （主学）風やゴムの力を利用したおもちゃ作りに関心を持ち、遊びを工夫しようとしている。	【ものの仕組みや働き】 ○おもちゃを作って遊ぼう	・紙飛行機を作って飛ばそう。 ・ゴムで動くおもちゃを作って遊ぼう（びよんびよんがえる、紙飛行機の発射台など）

3 学 期	15	(知及技)簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。(エ遊びイ) (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。(エ遊びア) (学・人)身近な遊びの中で教師や友達と一緒に関わりを楽しみながら、周囲に働きかけたり判断したりすることができる。(小2段階)	(知・技)教師や友だちと一緒に簡単なルールの遊びをしている。 (思・判・表)教師や友だちと一緒に、簡単な遊びをしたり、工夫して遊んでいる。 (主学)友だちと遊びの場や遊具を共有して関わりを広げようとしている。	【遊び】 ○簡単なルールのある遊びをしよう	・お正月について、歌や絵本の読み聞かせで知る。 ・福笑い、かるた、はねつき、コマ回しなど様々なお正月遊びを紹介する。 ・学級や学年合同でお正月遊びを楽しむ。
	10	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。(シ物の仕組みと働きイ) (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。(シ物の仕組みと働きア) (学・人)身近にある物の仕組みや働きについて、自分なりの考えをもち、伝えようすることができる。(小2段階)	(知・技)風やゴムの働きを利用したおもちゃ作りを通して、風の力が、物を動かすことができることに気付いている。 (思・判・表)風やゴムの力で動くおもちゃを、工夫して作り表現している。 (主学)風やゴムの力を利用したおもちゃ作りに関心を持ち、遊びを工夫しようとしている。	【ものの仕組みや働き】 ○風やゴムの力の感じてみよう	・たこ揚げをしよう Uパック袋、ビニル袋、割り箸、セロファン、スズランテープなど様々な素材を使って、自作の凧を作り、運動場や中庭でたこ揚げをする。 ・ゴムで動くおもちゃを作って遊ぼう 紙コップやゴムで作るおもちゃ作り(ロケット、ペタペタぺんぎんなど)
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 小学部 4 年（Ⅱ課程 aグループ）国語科 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	4 学年 6 名		『ゆっくり学ぶ子のためのこくご1』 『こくご☆☆』 『こくご☆☆☆』

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。（小学部3段階） （思判表力）出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができる。（小学部3段階） （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしよう และสามารถ。 （小学部3段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	43	（知及技）身近な人との会話を通し、物の名前や動作等いろいろな言葉の種類に触れることができる。☑Ⅱ2段階ア（ウ） （思判表力）身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と言葉を結び付けたり、言葉から事柄を思い浮かべたりすることができる。☑Ⅱ2段階A聞くこと・話すことア） （学・人）身の回りの出来事や気持ち等、表したい言葉を聞いて真似をしたり、自分なりの言葉で表現したりすることができる。（小2段階）	（知・技）教師の発問に対して名詞や動詞を使って答えている。 （思・判・表）教師の発問に対して気持ちや様子の言葉を自分なりにイメージして答えている。 （主学）教師や友達の言葉を真似て、自分なりの言葉で伝えようとしている。	単元1「話を聞いて答えよう①」～名詞と動詞～ 『ゆっくり学ぶ子のためのこくご1』 ・あおいそら しろうくも ・かめのこいしのうえ ・きのうえのりす ・ゆりのはなしろい 単元1「話を聞いて答えよう②」～名詞と動詞と形容詞～ 『ゆっくり学ぶ子のためのこくご1』 ・くろいいぬ、しろいねこ ・えをかいているゆりこさん。 えほんを みている あきらくん。 ・しろ、はしれ。 ・「きもち」や「ようす」	・教師が教材文を読み上げた後、名詞や動詞、形容詞等、口答で質問に答える。 ・教科書の内容に沿ったワークシートを作成し、イラストと言葉を確認する。 ・動詞や形容詞の意味を教師と一緒に確認しながら、たくさんの言葉に触れる。
	27	（知及技）日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。（小2段階ア（イ）） （思判表力）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。（小2段階C読むことア） （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しむことができる。	（知・技）平仮名で表された言葉に関心を持ち、音節に気付いて語のまとまりとして読んでいる。 （思・判・表）場面の様子や登場人物の行動などについて、イメージしたことを言葉や動作で表そうとしている。 （主学）絵本等にかかれた文字に関心を持ち、読もうとしている。	単元1「絵本を読もう」 ・へんしんトンネル ・ももたろう ・うみの100かいだてのいえ ・いちにちこんちゅう	・好きな場面の動作を真似たり、教師や友達に言葉で伝えたりする。 ・好きな言葉のリズムや響きを真似て読む。 ・絵本の絵や題名を見てどんな登場人物が出てくるかを考える。 ・二つの場面の絵を見比べ、登場人物の様子や行動の違いに気づく。 ・教師が、「はじめ」や「さいご」といった言葉で時間の経過を表し、話の内容を読み取れるようにする。
	14	（知及技）筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きなど、書写の基本を身に付けることができる。（小2段階イ（ウ）④） （思判表力）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。（小2段階B書くことイ） （学・人）いろいろな言葉が文字で表せる事を知り、自分なりに書いて表現しようすることができる。	（知・技）筆記用具を正しく持ち、姿勢を正してなぞり書きや写し書きをしている。 （思・判・表）見本となる文字の模写をしたり、なぞったり、マスの中に書いて表そうとしている。 （主学）平仮名や文字の見本を見て、自分なりに書こうとしている。	単元1「いろんな平仮名、書いてみよう①」 ・が～ご ・ぎ～ぞ ・だ～ど 単元2「いろんな平仮名、書いてみよう①」 ・ば～ぼ ・ぱ～ぽ	・「が」のつく言葉や「ぎ」のつく言葉等、児童が発した言葉を見本として提示する。 ・モニターに映した見本を書き写す。 ・6マス×6行のプリント用意し、マスや字形を意識して平仮名を書く。 ・なぞり書きが必要な児童には、必要に応じて蛍光ペンで見本をプリントに書く。
2 学期	45	（知及技）姿勢や口形に気を付けて話することができる。☑Ⅲ3段階ア（イ）） （思判表力）相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。☑（小3段階A聞くこと・話すことオ） （学・人）言葉でのやり取りを楽しみ、自分の思いや考えを伝えようすることができる。（小3段階）	（知・技）背筋を伸ばし、声を十分出しながら落ち着いた気持ちで話している。 （思・判・表）、相手との距離や場面に応じて声の大きさに気を付けて話している。 （主学）書いている言葉や簡単な文章を読み上げようとしている。	単元1「声に出そう」 『こくご☆☆☆』 ・でんわ 単元2 『こくご☆☆☆』 ・かんげい会 単元3 『こくご☆☆☆』 ・たのしかった えん足 単元4 『こくご☆☆☆』 ・三びきの 子ぶた	・電話の模型を使って、ロールプレイングをする。 ・教科書で会の進め方や役割、慣用的に使われている言葉を確認する。 ・誕生会やお楽しみ会の計画・運営を行う。 ・振り返りシートを用意し、遠足を振り返って絵や文をかく。友達の発表を聞いたり、皆んなの前で発表する。必要に応じて教師が助言する。 ・登場人物のお面を被り、各場面を演じる。
	29	（知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。（小3段階ア（ウ）） （思判表力）絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。（小3段階C読むことイ） （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、絵本や図鑑に関心に向けて読むことができる。（小3段階）	（知・技）促音、長音等の含まれた語句や短い文を正しく読んでいる。 （思・判・表）全体的な内容が分かり、挿絵を並べ替えたり、小見出しを付けたりしている （主学）内容を共有しようとする周りの人に動作や言葉で示そうとしている。	単元1読む 『こくご☆☆☆』 ・本を さがそう 単元2 『こくご☆☆☆』 ・かんばんをよもう 単元3 『こくご☆☆☆』 ・おじいさんと ねずみのはなし 単元4 『こくご☆☆☆』 ・かたかなをよもう 単元5 『こくご☆☆☆』 ・かたかなをさがそう	・知りたいことや読みたい本をメモしておく。 ・図書室へ行き、本の種類ごとの配架を知り、目当ての本を探す。 ・校内に掲示されているポスターを探し、写真を撮る。写真をモニターで確認し読み方や何を知らせているかを確認する。 ・「おむすびころりん すっとんとん」のフレーズを一定にしリズムを楽しめるようにする。 ・親しみがもてるよう、同じ特徴のある昔話の読み聞かせを行う。

	15	(知及技)姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(小3段階ウ(ウ)④) (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。(小3段階B書くことエ) (学・人)いろいろな言葉が文字で表せる事を知り、自分なりに書いて表現しようすることができる。(小3段階)	(知・技)筆記用具を正しく持ち、字形を整えてなぞり書きや写し書きをしている。 (思・判・表)見本となる文字の模写をしたり、なぞったり、マスの中に書いて表そうとしている。 (主学)平仮名や文字の見本を見て、自分なりに書こうとしている。	単元1 書く 『こくご☆☆☆』 ・ひらがなをかこう 単元2 『こくご☆☆☆』 ・かたかなをかこう 単元3 『こくご☆☆☆』 ・えにつきをかこう	・書くときの姿勢を確認し、みんなの前でいい姿勢を見せる。みんなで評価することで楽しんで取り組めるようにする。 ・教科書の内容をワークシートに反映し、書く練習をする。 ・カタカナで表現したい言葉をひらがなで書き、カタカナの一覧表を見たり、教師と一緒にカタカナを書く。 ・楽しい思い出を振り返り、その内容を順序立ててメモする。 ・メモをもとに日記を書く。
3 学期	32	(知及技)物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。(小3段階イ(ア)) (思判表力)登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。(小3段階C読むことエ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、絵本や図鑑に関心を向けて読むことができる。(小3段階)	(知・技)物事を時間や手順に沿って順序立てて捉えている。 (思・判・表)自分の経験と結びつけて想像を広げ、音読したり演じたりしている。 (主学)内容を共有しようと周りの人に動作や言葉で示そうとしている。	単元1読む 『こくご☆☆☆』 ・パーティーをしよう 単元2 『こくご☆☆☆』 ・プレーメンのまちのおはなし 単元3 『こくご☆☆☆』 ・ペープサートをつくろう	・教科書の内容を大きく掲示し、教師の読み聞かせを絵や文章を見ながら聞き、正しい読み方を確認する。 ・気に入った場面を選び、台詞や行動を真似る。 ・「3びきの子ぶた」から好きな場面や登場人物を選び、ペープサートを作る。
	30	(知及技)文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。(小3段階ア(オ)) (思判表力)見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。(小3段階B書くことウ) (学・人)いろいろな言葉が文字で表せる事を知り、自分なりに書いて表現しようすることができる。(小3段階)	(知・技)主語や述語、助詞が変わることで、文の表す意味が変わることに気付いている。 (思・判・表)身近な場面を表す絵や写真等を見て、自分なりに短い文を書いている。 (主学)主語や述語、助詞を使って、自分なりに書こうとしている。	単元1書く 『こくご☆☆☆』 ・かん字を よもう・かこう 単元2 『こくご☆☆☆』 ・文を かこう 単元3 『こくご☆☆☆』 ・手がみを かこう	・教科書に出てくる漢字をカードにして当てはまる場所に貼っていく漢字ゲームをする。 ・主語、助詞、述語をそれぞれ枠内に書くワークシートを作成し、正しい文章を書く。 ・手紙を書く紙を素材別、大きさ別で2種類用意し紙とそれに合った筆記用具を選び手紙を書く。
	10	(知及技)文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。(小3段階ア(オ)) (思判表力)見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。(小3段階B書くことウ) (学・人)いろいろな言葉が文字で表せる事を知り、自分なりに書いて表現しようすることができる。(小3段階)	(知・技)主語や述語、助詞が変わることで、文の表す意味が変わることに気付いている。 (思・判・表)身近な場面を表す絵や写真等を見て、自分なりに短い文を書いている。 (主学)主語や述語、助詞を使って、自分なりに書こうとしている。	単元1書く 『こくご☆☆☆』 ・かん字を よもう・かこう 単元2 『こくご☆☆☆』 ・文を かこう 単元3 『こくご☆☆☆』 ・手がみを かこう	・教科書に出てくる漢字をカードにして当てはまる場所に貼っていく漢字ゲームをする。 ・主語、助詞、述語をそれぞれ枠内に書くワークシートを作成し、正しい文章を書く。
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 小学部 4年（ II課程 bグループ ）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	4 学年 8名		『こくご☆☆』 『あっちゃんあがつく〜たべものあいうえお〜』 『あいうえおオノマトペ』 『やってみようあいうえお』

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。(小学部 2 段階) (思判表力) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。(小学部 2 段階) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやりとりを聞いたり伝えたりしよう และสามารถ做到的。(小学部 2 段階)			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	29	(知及技)身近な人との会話を通し、物の名前や動作等いろいろな言葉の種類に触れることができる。(小2段階ア(ウ)) (思判表力)身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と言葉を結び付けたり、言葉から事柄を思い浮かべたりすることができる。(小2段階Aア) (学・人)身の回りの出来事や気持ち等、表したい言葉を聞いて真似をしたり、自分なりの言葉で表現したりすることができる。(小2段階)	(知・技)イラストカードを見ながら、動詞や形容詞(事物の状態や感情などを表す言葉)を聞き、模倣している。 (思・判・表)教師の発問に対して気持ちや様子の言葉を自分なりにイメージして答えている。 (主学)教師や友達の言葉を真似て、自分なりの言葉で伝えようとしている。	【よく聞こう】 ・動きを表す言葉 ・様子を表す言葉 ・気持ちを表す言葉	・教師がイラストカードを見せ、名詞や動詞、形容詞等を身振りを交えて読み上げた後、児童は口頭や身振りで模倣し表現する。 ・イラストと言葉を確認する。 ・動詞や形容詞の意味を教師と一緒に確認しながら、たくさんの言葉に触れる。
	29	(知及技)昔話や童謡のかしなどの読み聞かせを聞いたり、真似したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(小2段階イ(ア)) (思判表力)教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。(小2段階Cア) (学・人)身の回りの出来事や気持ち等、表したい言葉を聞いて真似をしたり、自分なりの言葉で表現したりすることができる。(小2段階ア(ア))	(知・技)読み聞かせを聞いて、言葉に興味をもち、真似しながら声に出して読んでいる。 (思・判・表)場面の様子や登場人物の行動などについて、言葉や動作で表現しようとしている。 (主学)絵本等に書かれた文字や読み聞かせに関心を持ち、進んで読もうとしたり、真似て声に出そうとしている。	【声に出して読んでみよう】 『あっちゃんあがつく〜たべものあいうえお〜』 『あいうえおオノマトペ』 『やってみようあいうえお』	・読み聞かせを受け、登場人物の動作を真似たり、教師の模倣をしたりし、言葉や身振りで表現する。 ・好きな言葉のリズムや響きを真似て読む。 ・絵本の絵や題名を見てどんな登場人物が出てくるかを考える。 ・登場人物の様子や行動に興味をもたせ、楽しく動作を真似たり、言葉表現したりする。
	29	(知及技)日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。(小2段階ア(イ)) (思判表力)簡単な指示や説明を聞き、その指示に応じた行動をすることができる。(小2段階Aイ) (学・人)いろいろな言葉が文字で表せる事を知り、自分なりに書いて表現しようすることができる。	(知・技)教師と一緒に指定された平仮名を読もうとする。 (思・判・表)教師の発問を聞き、指定された文字を複数の平仮名の中から探そうとする。 (主学)指定された平仮名カードを見て、複数の中から自分なりに探し、書こうとしている。	単元1「いろんな平仮名、探してみよう！①」 ・あ〜お ・か〜こ ・さ〜そ ・た〜と ・な〜の ・は〜ほ 単元2「いろんな平仮名、探してみよう！②」 ・ま〜も ・や〜よ ・わ〜ん	・指定した平仮名「あ」「い」「う」「え」「お」等を、見本として黒板に提示する。 ・6×6の複数の平仮名が印刷されたプリントを用意し、そのプリントの中から、指定された平仮名を4つ探す。 ・必要に応じて、言葉掛けを行い、蛍光ペンでプリントに印を書き、なぞるよう促す。 ・児童の実態に応じて、2×2のプリントにするなど、問題を変える。
2 学 期 (102)	34	(知及技)身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。(小2段階ア(ア)) (思判表力) 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすることができる。(小2段階Aエ) (学・人)体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。(小2段階Aウ)	(知・技)経験したことのある場面を思い浮かべ、気持ちや要求を表す言葉に気付き、教師の言葉を真似て表現することができる。 (思・判・表)身近な学校生活の場面を思い浮かべ、挨拶や会話などを思い浮かべ、表現しようとする。 (主・学)体験したことのある場面を思い浮かべ、その場面で抱いた気持ちを言葉で表現しようとする。	【聞くこと・話すこと】 単元1『こくご☆☆』 ・おはなしでできるかな 単元2『こくご☆☆』 ・くわしくはなそう 単元3『こくご☆☆』 ・がっこうせいいかつ 単元4『こくご☆☆』 ・おおきなだいこん 単元5『こくご☆☆』 ・どんなきもちかな	・家庭や学校生活で想起しやすいイラストを取り上げ、物の名前や動作など、日常生活で接するいろいろな言葉に触れる。 ・日常生活で耳にする二語文の表現(詳しく話すこと)に興味をもてるようにし、より詳しく相手に伝えることができるようにする。 ・身近な学校生活の場面のイラストを取り上げ、挨拶や会話などの日常生活で使われている言葉と、イメージした知っている言葉と結びつけたりする。 ・児童になじみやすいセリフやフレーズを用いて、児童が言葉による表現を楽しみながら役を演じる。 ・児童が生活の中で経験したことがあると考えられる出来事のイラストを取り上げ、気持ちを表す言葉を聞き真似をしたり、想像し言葉で表現したりする。
	34	(知及技)日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。(小2段階ア(イ)) (思判表力)日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。(小2段階Cウ) (学・人)教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。(小2段階Cア)	(知・技)生活の中で見聞きしている物の名前(友達、食べ物、身体部位など)の平仮名を教師と一緒に母音の口形を意識して読もうとする。 (思・判・表)日常生活の中で身近な標識を見て、その標識の意味することを言葉で表したり、とるべき行動を模倣したりしようとする。 (主・学)家庭や日常生活、絵本等の中で見かける身近な事象や物事を表している絵や平仮名を声に出して読んだり、動作で表したりしようとする。	【読むこと】 単元1『こくご☆☆』 ・なまえなあんだ 単元2『こくご☆☆』 ・しるしをみつけよう 単元3『こくご☆☆』 ・あつめてみよう 単元4『こくご☆☆』 ・ひらがなをよんでみよう	・生活の中で見聞きしている物の名前(友達、食べ物、身体部位など)の平仮名を教師と一緒に母音の口形を意識して読んだり、文字と絵を結びつけたりする。 ・日常生活の中で身近な標識を取り上げ、その標識の意味することを言葉で表したり、とるべき行動を模倣したりする。 ・誕生日会などの楽しかった経験などから、それぞれの場面で使う物とその名前を思い浮かべたり、思い浮かべた物を実物や絵などと一致させたりする。 ・家庭や日常生活、絵本等の中で見かける身近な事象や物事を表している絵や平仮名を声に出して読んだり、絵と平仮名カードを合わせたりする。
	34	(知及技)いろいろな筆記用具を用いて、書くことに親しむことができる。(小2段階イ(ウ)㊟) (思判表力)自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。(小2段階Bイ) (学・人)身近で経験したことについて、写真などを手がかりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。(小2段階Bア)	(知・技)ペンや鉛筆などの筆記用具を用いて、いろいろな線の運筆に取り組み、いろいろな形を書こうとする。 (思・判・表)絵本等の中で見かける身近な物の名前や事象、物事を表している絵や平仮名を声に出して読み、絵と平仮名カードを合わせたり、平仮名で書いたりしようとする。 (主・学)相手を思い浮かべ、伝えたいことを思い浮かべたり、複数の気持ちから選んだりしようとする。	【書くこと】 単元1『こくご☆☆』 ・かいてみよう 単元2『こくご☆☆』 ・ひらがなをかいてみよう 単元3『こくご☆☆』 ・かーど	・いろいろな筆記用具を用いて、いろいろな線の運筆や日常生活において身近な物の形や絵などを書いたり、なぞったりする。 ・家庭や日常生活、絵本等の中で見かける身近な物の名前や事象、物事を表している絵や平仮名を声に出して読んだり、絵と平仮名カードを合わせたり、平仮名で書いたりする。 ・相手を思い浮かべ、伝えたいことを思い浮かべたり、複数の気持ちから選んだりする。その感謝の気持ちなどの思いを、言葉や短い文で書いて伝える。

3 学 期 (66)	30	(知及技)絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。(小2段階Cエ) (思判表力)教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えることができる。(小2段階Cイ) (学・人)遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむことができる。(小2段階イ(イ))	(知・技)絵本等の中で見かける身近な事象や物事を表している絵や平仮名を声に出して読もうとする。 (思・判・表)言葉の響きやリズムに親しみながら、挿絵などを手掛かりにして物語の大体を捉えようとする。 (主・学)封筒に書かれた宛名を見て、宛名の名前を読み、誰への手紙か考えたり、郵便屋さんになって手紙を届けたりしようとする。	【読むこと】 単元1『こくご☆☆』 ・ひらがなをよんでみよう 単元2『こくご☆☆』 ・うさぎとかめ 単元3『こくご☆☆』 ・てがみ	・家庭や日常生活、絵本等の中で見かける身近な事象や物事を表している絵や平仮名を声に出して読んだり、動作を模倣したり、絵と平仮名カードを合わせたりする。 ・言葉の響きやリズムに親しみながら、好きな台詞や場面に注目したり、挿絵などを手掛かりにして物語の大体を捉えたりする。 ・封筒に書かれた宛名を見て、誰への手紙か考えたり、宛名の名前を読んだりする。郵便屋さんになり、手紙を届ける。
	26	(知及技)筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きなど、書写の基本を身に付けることができる。(小2段階イ(ウ)㊦) (思判表力)自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。(小2段階Bイ) (学・人)身近で経験したことについて、写真などを手がかりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。(小2段階Bア)	(知・技)書くときの正しい姿勢に気をつけ、教師と一緒に平仮名のなぞり書きに取り組むもうとする。 (思・判・表)自分の名前や好きな物の名前平仮名をなぞり書きし、表そうとする。 (主・学)生活の中の出来事について思い浮かべ、教師と一緒に平仮名を用いて書いて表そうとする。	【書くこと】 単元1『こくご☆☆』 ・くわしくはなそう 単元2『こくご☆☆』 ・じこしょうかい 単元3『こくご☆☆』 ・えにつき	・日常生活で耳にする二語文の表現(詳しく話すこと)に使われる形容詞(色、感情、様子)や物の名前、動作を表す言葉を教師と一緒に平仮名を用いて表す。 ・自分の好きな物を思い浮かべたり、選んだりしながら、教師と一緒に平仮名を用いて表す。 ・生活の中の出来事について想起し、教師と一緒に平仮名を用いて書いて表す。(必要に応じて見本を見せたり、蛍光ペンでなぞり書きのプリントを準備する。)
留意点 引継ぎ等					

令和 5年度 小学部 4年（Ⅱ課程Cグループ）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	4 学年 11名		『こくご☆』 絵本

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。（1段階） (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。（1段階） (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。（1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期（82）	40	(知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。（言葉の特徴や使い方） (思判表力)身近な人からの話しかけに注目したり、応じて答えたりすることができる。（A聞くこと・話すことイ） (学・人)発語等によって、自分の意思を伝える良さを感じることができる。（小1段階）	(知・技) 言葉のリズムを楽しんだり、発声している。 (思・判・表)教師の話しかけに注目したり、応じて身振りや音声で表している。 (主学) 発語等で、伝えようとしている。	【聞くこと・話すこと】 「声をだしてみよう」 ・あいうえおともだち ・お口の体操 (あいうべ体操 あいうえろツクンロール)	・国語の授業のウォーミングアップで、身体を動かしながら、「あいうえおともだち」であいうえおの音を身体で表現する。 ・動画を見ながらあいうえおの口形模倣をしながら声を出す
	42	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもったり、日常生活でつかわれる簡単な平仮名を読むことができる。（小2段階ア(イ)） (思判表力)教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣し有り、表情や身振り、簡単な話言葉などで表現したりすることができる。（A聞くこと・話すことア） (学・人)言葉の音やリズムの良さを感じるとともに、良さを表すことができる。（小1段階）	(知・技) 教師の言葉に注目し、提示された絵本や単語に興味を持ち、平仮名を読もうとする。 (思・判・表)教師の読み聞かせを見て、一緒に発声したり動作を模倣している。 (主学)好きな場面を思い浮かべ、動作や言葉で伝えようとしている。	【聞くこと・話すこと】 ・「絵本をよもう」 ・うずらちゃんのかくれんぼ ・「あのつくことば」 あ～さ行	・教師が身振りを交えながら絵本の読み聞かせをする。 ・好きな場面を選んで、発声や身振りを交えながら発表する。 ・日常生活でつかわれる簡単な単語を読んだり、絵カードを見て声に出して答えたりする。
2 学期	26	(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。（小1段階我が国の言語文化イ（ア）） (思判表力)教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話言葉などで表現したりすることができる。（小1段階A聞くこと・話すことア） (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。（小1段階）	(知・技) 物語の一場面を簡単な言葉で唱えたり、動作化したりして、親しんでいる。 (思・判・表)教師や友達と台詞を言ったり、動作を模倣したりと、言葉の響きやリズムを楽しみながら表現している。 (学・人)繰り返し学習する中で、教師や友達とのやり取りを、楽しもうとしている。	【聞くこと・話すこと】 「真似してみよう」 ・くまさんくまさん『こくご☆』	・言葉の響きやリズムを感じられるように意識して読み聞かせを行う。 ・教師が子ども役、児童がくまさん役になり、教師の言葉と動作を模倣して遊ぶ。 ・場面ごとに絵を見ながら様子や動作を行う。 ・話せる児童は、言葉と動作と一緒に模倣する。 ・自分の好きな場面を選び、発表する。
	26	(知及技) 言葉が事物の内容を表していることを、感じることができる。（小1段階言葉の特徴や使い方ア（ア）） (思判表力)絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動することができる。（小1段階C読むことウ） (学・人)自分のイメージした事物や事柄を表す言葉を探そうと考えたり、伝えようとするができる。（小1段階）	(知・技) 教師とのやり取りを繰り返す中で、言葉と事物が一致している。 (思・判・表)場所や動作を表す絵や写真、日常生活で見かけるシンボルマーク、「○」「×」「→」「←」といった簡単な記号を意味に応じて行動している。 (主学)自分のイメージした事物や事柄を表す言葉を考え、伝えようとしている。	【読むこと】 単元1 「体を動かしてみよう」 ・動作のある絵 ・矢印 ・○（動く）×（止まる）	単元1 ・絵本などの挿絵を見て模倣する。 ・「→」「↑」「←」「↓」をみて動く。 ・○は「動く」、×は「止まる」動きをする。 単元2 ・児童が普段使っている場所の写真を用意し、写真をみて移動する。 ・児童の好きな場所の写真を用意し、行きたい場所を一つ選び移動する。

(97)	25	(知及技)身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。(言葉の特徴や使い方ア) (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。(A聞くこと・話すことウ) (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技)経験したことを、身近な大人や友だちに言葉や身振りなどで伝えている。 (思・判・表)伝えたい場面を思い浮かべ、身振りや音声などで表している。 (主学)発表の場面を通して、自分の思いを言葉等で伝えようとしている。	【聞くこと・話すこと】 「伝えよう」 ・秋の遠足 ・運動会 ・「たのつくことば」 た～わ行	・二学期の行事を絵カードや写真を見ながら振り返る。 ・楽しかったこと頑張ったことを選択したり、身振りや言葉で自分の気持ちを発表する。 ・日常生活でつかわれる簡単な単語を読んだり、絵カードを見て声に出して答えたりする。
	20	(知及技)読み聞かせに注目し、いろいろな絵本に興味を持つことができる。(小1段階イ(I)) (思判表力)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。(小1段階C読むことエ) (学・人)言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。(小1段階)	(知・技)いろいろな絵本などに興味を持ち、読み聞かせに注目している。 (思・判・表)次の場面を期待したり、言葉のもつ音やリズム、言葉が表す動作を楽しみながら模倣している。 (主学)言葉で表すことやその良さを感じるとともに、読み聞かせに合わせて簡単な言葉や身振りを使おうとしている。	【読むこと】 「絵本をよもう」 ・とってください ・どんどこももんちゃん	・教師が身振りを交えながら絵本の読み聞かせをする。 ・絵本に出てくる簡単な言葉や繰り返し出てくる言葉などを身振りと一緒に表現する。
3学期 (66)	41	(知及技)いろいろな筆記用具に触れ、書くことができる。(小1段階イ(ウ)㊦) (思判表力)文字に興味を持ち、書くことができる。(小1段階B書くこと-I) (学・人)いろいろな筆記用具を使い書くことに関心をもって学習に取り組もうとしている。(小1段階)	(知・技)いろいろな筆記用具に触れ、線や形などを書いている。 (思・判・表)文字に興味を持ち書くようとしている。 (主学)いろいろな筆記用具を自ら手に取り、学習に取り組もうとしている。	【書くこと】 「書いてみよう」 ・自由に線を書いてみよう ・いろいろな筆記用具を使ってみよう ・いろいろな線を書いてみよう(直線、曲線、ギザギザ等)	・鉛筆、クレヨン、ボールペン、水性・油性ペン、筆、はけ、チョークなど様々な筆記用具を使い、教師と一緒に線を書いたり、模倣をして形を書いたりすることで書くことに親しみを持てるような活動を行う。
	25	(知及技)身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。(言葉の特徴や使い方ア) (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。(A聞くこと・話すことウ) (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技)経験したことを、身近な大人や友だちに言葉や身振りなどで伝えている。 (思・判・表)伝えたい場面を思い浮かべ、身振りや音声などで表している。 (主学)発表の場面を通して、自分の思いを言葉等で伝えようとしている。	【聞くこと・話すこと】 「伝えよう」 ・校外学習 ・1年間振り返る	・四年生の行事を絵カードや写真を見ながら振り返る。 ・楽しかったこと頑張ったことを選択したり、身振りや言葉で自分の気持ちを発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 小学部 4 年（Ⅱ課程 dグループ ）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	4 学年 5 名		絵本、紙芝居、絵カード等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。（1 段階） (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。（1 段階） (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。（1 段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期（8 2）	40	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していると感じ、言葉に触れることができる。（ア言葉の特徴や使い方（ア）（イ）） (思判表力)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。（A聞くこと・話すことイ） (学・人)発声や身振り等、自分なりの表現ができる。（小1段階）	(知・技) 教師からの話し掛けや呼びかけに気付いたり、言葉を聞いて実際の事物に触ったりしている。 (思・判・表)教師の話し掛けに注目したり、応じて身振りや音声等で答えたりしている。 (主学) 教師の話し掛けに応じたり、発声や身振りをしたりして自分なりの表現で相手に伝えようとしている。	【聞くこと・話すこと】 「聞いて答えよう」 ・自分や友達の名前を知ろう ・返事をしよう ・やりとりをしよう	・呼名されたら、発声や身振り等で自分なりに応じる。 ・提示された物や教師に注意を向ける。 ・音声や動作で模倣する。 ・児童の生活に身近な人や事物の名前を知る。
	7	(知及技) いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。（イ我が国の言語文化（ウ）㊦） (思判表力) 文字に興味を持ち、書こうとすることができる。（B書くことイ） (学・人) 書くことに関心をもって学習に取り組むことができる。（小1 段階）	(知及技) 様々な筆記具に触れ、書くことに親しんでいる。 (思判表力) 教師の模倣をして書いたり、言葉かけに応じて自由に書いたり色をぬったりしている。 (主学) 教師が書く様子を見ようとしたり、自分なりに書いたりして学習に取り組もうとしている。	【書くこと】 「書いてみよう」 ・いろいろな筆記具を使ってみよう ・自由に書いてみよう ・いろいろな線を書いてみよう（ぐるぐる、てんてん、シュツシュ等）	・身近で扱いやすい筆記具（鉛筆、クレヨン、ペン等）を使って書く。 ・いろいろな線や形を教師と一緒に書いたり、模倣をして書いたりする。
	35	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。（イ我が国の言語文化（エ）） (思判表力)絵本などを見て、身近な事物や生き物を指さしたり、視線を向けたりすることができる。（C読むことア、イ） (学・人)言葉を聞いて視線を合わせたり、発声や身振り等をしたりして自分なりの表現ができる。（小1 段階）	(知・技) 言葉の響きやリズムを感じたり、絵本の中の絵や台詞に注意を向けている。 (思・判・表)教師と一緒に絵本などを見て、身近な事物や生き物を指さしたり、視線や意識を向けたりしている。 (主学)教師の話し掛けに応じたり、発する言葉に合わせて身振りをしたりして学習に取り組もうとしている。	【読むこと】 「絵本をよもう」 ・絵本、紙芝居を見てみよう ・デジタル絵本を見てみよう	・読み聞かせに注目する。 ・絵本に指差ししたり、視線や意識を向けたりする。 ・教師と一緒に絵本に出てくる動作を模倣したり、言葉や擬声語を声に出したりする。
	43	(知及技) 言葉が事物の内容を表していると感じ、言葉に触れることができる。（ア言葉の特徴や使い方（ア）（イ）） (思判表力)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。（A聞くこと・話すことイ） (学・人)発声や身振り等、自分なりの表現ができる。（小1 段階）	(知・技) 教師からの話し掛けや呼びかけに気付いたり、言葉を聞いて実際の事物に触ったりしている。 (思・判・表)教師の話し掛けに注目したり、応じて身振りや音声等で答えたりしている。 (主学) 教師の話し掛けに応じたり、発声や身振りをしたりして自分なりの表現で相手に伝えようとしている。	【聞くこと・話すこと】 「聞いて答えよう」 ・あいさつ、返事をしよう ・物の名前を知ろう ・やり取りをしてみよう	・提示された物や教師に注意を向ける。 ・音声や動作で模倣する。 ・生活の中で繰り返し使う言葉や動作を聞いたり模倣したりする。

2 学 期 （ 9 7 ）	42	（知及技）昔話や言葉遊びなどを通して、言葉の響きやリズムを感じたり動作化したりすることができる。（イ我が国の言語文化（ア）（イ）） （思判表力）教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。（A聞くこと・話すことア） （学・人）発声や身振り等、自分なりの表現ができる。（小1段階）	（知・技）言葉の響きやリズムを感じたり、教師の動きを注視したり真似たりしている。 （思判表力）教師と一緒に発声したり、簡単な動作などを模倣したりしている。 （主学）教師の話し掛けに応じたり、発する言葉に合わせて身振りをしたりして学習に取り組もうとしている。	【聞くこと・話すこと】 「聞いて楽しもう」 ・絵本（できるかな、どうぶつえんへ） ・わらべ歌	・読み聞かせに注目する。 ・読み聞かせや言葉遊びなどを通して言葉の響きやリズムを体感する。 ・教師と一緒に絵本に出てくる声や音、動作などを聞いたり模倣したりする。
	12	（知及技）いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。（イ我が国の言語文化（ウ）㊟） （思判表力）文字に興味を持ち、書こうとすることができる。（B書くことイ） （学・人）書くことに興味をもって学習に取り組むことができる。（小1段階）	（知及技）様々な筆記具に触れ、書くことに親しんでいる。 （思判表力）教師の模倣をして書いたり、言葉かけに応じて自由に書いたり色をぬったりしている。 （主学）教師が書く様子を見ようとしたり、自分なりに書いたりして学習に取り組もうとしている。	【書くこと】 「書いてみよう」 ・いろいろな筆記具を使ってみよう ・自由に書いてみよう ・いろいろな線を書いてみよう（ぐるぐる、てんてん、シュツシュ等）	・身近で扱いやすい筆記具（鉛筆、クレヨン、ペン等）を使って書く。 ・いろいろな線や形を教師と一緒に書いたり、模倣をして書いたりする。
3 学 期 （ 6 6 ）	28	（知及技）言葉が事物の内容を表していることを感じ、言葉に触れることができる。（ア言葉の特徴や使い方（ア）（イ）） （思判表力）身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。（A聞くこと・話すことイ） （学・人）発声や身振り等、自分なりの表現ができる。（小1段階）	（知・技）教師からの話し掛けや呼びかけに気付いたり、言葉を聞いて実際の事物に触ったりしている。 （思・判・表）教師の話し掛けに注目したり、応じて身振りや音声等で答えたりしている。 （主学）教師の話し掛けに応じたり、発声や身振りをしたりして自分なりの表現で相手に伝えようとしている。	【聞くこと・話すこと】 「聞いて答えよう」 ・あいさつ、返事をしよう ・物の名前を知ろう ・やり取りをしてみよう	・提示された物や教師に注意を向ける。 ・音声や動作で模倣する。 ・生活の中で繰り返し使う言葉や動作を聞いたり模倣したりする。
	10	（知及技）いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。（イ我が国の言語文化（ウ）㊟） （思判表力）文字に興味を持ち、書こうとすることができる。（B書くことイ） （学・人）書くことに興味をもって学習に取り組むことができる。（小1段階）	（知及技）様々な筆記具に触れ、書くことに親しんでいる。 （思判表力）教師の模倣をして書いたり、言葉かけに応じて自由に書いたり色をぬったりしている。 （主学）教師が書く様子を見ようとしたり、自分なりに書いたりして学習に取り組もうとしている。	【書くこと】 「書いてみよう」 ・いろいろな筆記具を使ってみよう ・自由に書いてみよう ・いろいろな線を書いてみよう（ぐるぐる、てんてん、シュツシュ等）	・鉛筆、クレヨン、ボールペン、水性・油性ペン、筆、はけ、チョークなど、様々な筆記具を使って書く。 ・いろいろな線や形を教師と一緒に書いたり、模倣をして書いたりする。
	28	（知及技）読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。（イ我が国の言語文化（エ）） （思判表力）絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。（C読むことエ） （学・人）言葉を聞いて視線を合わせたり、発声や身振り等をしたりして自分なりの表現ができる。（小1段階）	（知・技）言葉の響きやリズムを感じたり、絵本の中の絵や台詞に注意を向けている。 （思・判・表）次の場面を期待したり、言葉のもつ音やリズム、言葉が表す動作などを模倣している。 （主学）教師の話し掛けに応じたり、発する言葉に合わせて身振りをしたりして学習に取り組もうとしている。	【読むこと】 「絵本をよもう」 ・絵本、紙芝居を見てみよう ・デジタル絵本を見てみよう	・読み聞かせに注目する。 ・絵本に指差ししたり、視線や意識を向けたりする。 ・教師と一緒に絵本に出てくる動作を模倣したり、言葉や擬声語を声に出したりする。
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 小学部 4 年（ 課程 aグループ ）算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	4 学年 5 名		さんすう☆☆ さんすう☆☆☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）数の概念や表し方および図形、量の大きさの違いがわかり、身の回りのものや身近な出来事とのつながりに関心をもち、簡単な絵や記号を用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付けることができる。（小2段階） （思判表力）ものの数量に着目して数え方や比べ方を考えたり、身の回りにあるものの形に関心を持ち、その性質や関係に気づいたりするとともに、身の回りのものや身近な出来事とのつながりなどに着目し、簡単な表やグラフを用いてそれらを表現することができる。（小2段階） （学・人）数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら、興味をもって学習に向かうことができる。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	23	（知及技）数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いることができる（小2段階 A数と計算 ア（ア）㊲） （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。（小2段階 A数と計算 ア（イ）㊲） （学・人）数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとすることができる。（小学部2段階A数と計算）	（知・技）順序数と集合数の違いがわかっていいる。 （思・判・表）順序数と集合数の質問の違いに気づき、イラストなどを用いながら、答えようとしている。 （主学）数を用いて順番や位置を表せることに関心をもち、自ら活動に取り組もうとしている。	なんばんめ？ ☆☆P44～49 解説P134～137	○順序数と集合数の理解を深める学習 ・たくさんある物（消しゴム、人形など）の中から10個取り、横や縦に並べる。 ・問題（右から○番目、左から○番目等）を読んで、指定されたものを選ぶ。 ・問題（右から△個、上から△個等）を読んで、指定された個数を取る。
	30	（知及技）縦や横の線、十字、△や□を書くことができる（小2段階B図形イ（ア）㊲） （思判表力）身の回りにある物の形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。（小2段階B図形イ（イ）㊲） （学・人）図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味を持って学ぶことができる。（小2段階B図形）	（知・技）縦や横の線を描いたり、線と線をつなげることで、十字、△や□を描いたりできる。 （思・判・表）△や□など形の特徴を自分なりに表現し、伝えようとしている。 （主学）身の回りの物の形に関心を持ち、分けたり、集めたりするなど具体物を操作しながら、自ら学習に取り組もうとしている。	△や□を描いてみよう ☆☆P22～23 解説P166～167	○線と線をつなげて、△や□が描ける学習 ・△や□をなぞったり、模写する。 ・点描画で描いた線や形（△□）を使って、イラストを描く。

2 学 期	12	（知及技）大きさや色など属性が異なるものであっても、形の属性に注目して、分類したり、集めたりすることができる。（小2段階B図形イ（ア）㊟） （思判表力）身の回りにある物の形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。（小2段階B図形イ（イ）㊟） （学・人）図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味を持って学ぶことができる。（小2段階B図形）	（知・技）色や形、大きさに注目して、身の回りにある具体物を分類している。 （思・判・表）丸や三角、四角の特徴について考えながら、分けたり集めたりしている。 （主学）身の回りの物の形に関心を持ち、分けたり、集めたりするなど具体物を操作しながら、自ら学習に取り組もうとしている。	「丸」「三角」「四角」の仲間を見つけよう ☆☆P14～21 解説P161～165	○身の回りにある物の形に注目し分類する学習 ・丸や三角、四角のカードを、辺の特徴（直線や曲線等）に注目しながら分類する。 ・色や大きさなどが異なる物でも「丸」「三角」「四角」の特徴に注目して分類する。 ・用意した具体物を見ながら、「丸」「三角」「四角」に見えるところを探す。 ・教室や身近な場所から「丸」「三角」「四角」を探し、「〇〇からみたら」と、見方によって現れる形を探す。
	20	（知及技）具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数とほかの数と関係づけてみることができる。（小2段階A数と計算ア(ア)㊟） （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で生かすことができる。Aア(イ)㊟ （学・人）数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味を持って学ぶことができる。	（知・技））5の合成・分解を理解しようとしている。 （思・判・表）具体物を利用しながら、5の合成・分解をし、数の構成や多面的な見方をしようとしている。 （主学）数の合成・分解に関心を持ち、足し算への素地をつくり、面白さを感じながら興味を持って学ぼうとしている。	いくつといくつ あわせていくつ（5まで） ☆☆P60～63 解説P145～146	・5キーカードゲーム（5までのいくつといくつ） ・10のカードゲーム（10の補数いくつといくつ） ・はてなボックスから数を取り出そう。
	20	（知及技）二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。（小2段階 C測定ア（ア）㊟） （思判表力）長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を規準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりできる。（小2段階 C測定 ア（イ）㊟） （学・人）数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。	（知・技）大きさや長さ、重さなどの量の違いに気づき、並べたり重ねたりしながら感覚的に直接比べている。 （思・判・表）二つのものの量に着目し、並べたり重ねたりなど工夫して比較し、気づいたことを表現している。 （主学）身の回りにある物の量の違いに興味を持って学習に取り組み、学習や生活にいかそうとしている。	比べてみよう ☆☆P34～39 解説P178～183	○大きい小さい、長い短い、重い軽いの概念と言葉を結びつける学習 ・ボールの大きさ、鉛筆やペンの長さ、砂や水の重さなどを用いて、どちらが大きい（小さい）、長い（短い）、重い（軽い）など、直接比較する。 ・二つの量に着目して「〇〇が△△（大きい・小さい、長い・短い、重い・軽い）」など、比較表現を用いて表現する。 ・量の違いと用語のつながりにも注目させる。
3 学 期	20	（知及技）ものとものを対応させることによって、ものの同等や多少がわかる。（小2段階 Dデータの活用イ（ア）㊟） （思判表力）身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現することができる。（小2段階 Dデータの活用イ（イ）㊟） （学・人）数量や図形に関心をもち算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。	（知・技）玉入れの赤玉、白玉を対応させて数えて、玉の数の同等や多少がわかっている。 （思・判・表）かごに入った玉の個数を丸印などでグラフに表し、丸印の数を並べて対比することで、同等や多少を表現しようとしている。 （主学）玉の数量やグラフの作成に興味をもって、自ら活動に参加しようとしている。	勝敗を決めよう ☆☆P54～55 解説	○表を使って比べる学習 ・赤と白の玉を教師が提示した数に分ける。 ・分けたそれぞれの玉の数の同等や多少を確認する。 （玉入れゲーム） ・赤白の玉で、玉入れをする。 ・かごに入った玉の数をそれぞれで並べる。並べ方を工夫して量の多少、同等を判断する。 ・かごに入った玉の数を表に記入し（シール、丸印など）比較して多少、同等の判断をする。
	15	（知及技）日常生活のなかで時刻を読むことができる。（小3段階C測定-イ㊟） （思判表）時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現することができる。（小3段階C測定-イ㊟） （学・人）数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用することができる。（小3段階）	（知・技）長針と短針を区別して時刻を読むようとしている。 （思・判・表）いろいろな場所の時刻を読み取って発表している。 （主学）自分の生活と時刻に関心を持って進んで学習に取り組もうとしている。	いま、なんじ？ ・短い針と長い針 ・時間を読む ・ごぜんとごご ・午前中は何してる？ ・午後は何してる？ ☆☆P80～87 解説P319～329	○いま、なんじ？ ・短い針は「〇時」を表す事を確認する。 ・長い針は「〇分」を表す事を確認する。 ・「〇時ちょうど」、「〇時すぎ」、「〇時半」、「〇時前」という言葉でおおまかに時間を表す。 ・色々な場所の溶けいをん探して時刻を読みとり、発表する。 ○ごぜんとごご ・午前午後について知り、午前中にすること、午後にすることについて考える。 ・1日は24時間ということを知る。
年 間 を 通 し て	35	（知及技）数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。（小3段階 A数と計算 ア（ア）㊟） （思判表力）数のまとまりに注目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる（小3段階 A数と計算ア（イ）㊟） （学・人）数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用することができる。（小学部3段階A数と計算）	（知・技）2、5、10ずつ数える数えることができる。 ・10のまとまりを作り、10のまとまりと端数に分けて数えたり、数字を書き表すことができる。 （思・判・表）タイルを使って数を表現したり、数の関係について考えて「2」「5」や「10」のまとまりに気づき、表現しようとしている。 （主学）主体的に数を数えたり比べたりする活動に取り組み、興味を持って学ぼうとしている。	大きな数のかきかた ☆☆☆P16～17 解説P229～232	○十進法位取り記数法の基礎を学ぶ学習 ・数字を1から10まで順番に並べる。 ・10の「階段」のタイルを数えて数唱を言い、数字を当てはめる。 ・数字をタイルを用いて表す。 ・10より大きい数については、10を1つのまとまりとしてとらえ、「じゅう」と「いくつ」とタイルを用いて表すようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 小学部 4 年（ II 課程 b グループ ）算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	4 学年 9 名		さんすう☆☆ さんすう2

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常の事象での数量や図形に注目し、数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質に気づき理解することができる。(小2段階) (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力や基礎的・基本的な数量や図形の性質に気づき感じ取る力、それらを表現することができる。(小2段階) (学・人)数学的活動の楽しさに気づき、関心や興味を持ち、算数で学んだことを生活に活用しようとする事ができる。(小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	33	(知及技) 10までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係関心をもって関わることに ついての技能を身に付けることができる。(A数と計算ア) (思判表力)日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図なを用いながら数の数え方を考え、表現することができる。(A数と計算ア) (学・人)数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことが態度を養うことができる。(小2段階)	(知・技) 10までの数が分かり、具体物を数えたり、指定された個数を取ったりしている。 (思・判・表)表示された数字に注目し、指定された数字を3つの数字の中から選んだり、指定された個数を友だちに配ろうとしている。 (主学)具体物を操作する楽しさを味わい、興味関心をもって学習に取り組もうとしている。	【数と計算】 単元1「10までの数」 ・数えてみよう ・牛乳パックを取ろう ・数字を当てよう ・配ってみよう	・指定された牛乳パックの個数を数えながら取る。 ・玉入れゲーム、輪投げゲーム等を行い、具体物の操作を行う。 ・指定された個数の牛乳パックを配る。
	30	(知及技)身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。(小2段階B図形 イ(ア)㊟) (思判表力)身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。(小2段階B図形 イ(イ)㊟) (学・人)図形に関心をもち、楽しみながら学習することができる。(小2段階)	(知・技)丸や三角、四角という名称と形を一致させている。 (思・判・表)身の回りの形に関心を持ち、形の違いに気付いている。 (主学)形集めに進んで取り組もうとしている。	【図形】 単元1「まる、さんかく、しかく」 ・○△□の名前を知ろう ・形で分けよう 単元2「形を探そう」 ・○△□を集めよう	・○、△、□の形と名称を確認する。 ・同じ色、大きさで○、△、□の分類をする。 ・異なる大きさで○、△、□の分類をする。 ・異なる色、大きさで○、△、□の分類をする。 ・身の回りの物の写真を撮り、○、△、□で分類する。
2 学期	37	(知及技)数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いることができる。(小2段階A数と計算ア(ア)㊟) (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考えることができる。(小2段階A数と計算ア(イ)㊟) (学・人)数量に関心を持ち、楽しみながら学習することができる。(小2段階)	(知・技)右(左、上、下、前、後ろ)から○番目?の問いに正しく答えている。 (思・判・表)「右から何個目」と「右から何個」の違いに気づき、それぞれ数えて取っている。 (主学)自分で問題を考えたり、友達が考えた問題を解いたり、楽しんで学習しようとしている。	【数と計算】 単元1「なんばんめ」 ・探してみよう①(前後) ・探してみよう②(左右) ・探してみよう③(上下) 単元2:「ならべておこう」 ・果物並べ(1×4の表) ・果物並べ(2×4の表) ・人物並べ(3×4の表) 単元3「なんこめとなんこ」 ・選んで取ろう ・色をぬって調べよう ・問題を作ろう	・顔写真カードや具体物等で順序や位置を確認する。 ・必要に応じて教師と一緒に順序や位置を数えて確認する。 ・「(右、左、上、下から)○番目」の位置を探したり、表したりする。 ・口頭での問題やプリントでの問題に取り組む。 ・一列に並べた10個の具体物から、「○番目」の物や「○個」の物を選んで取る。 ・口頭での問題やプリントでの問題に取り組む。 ・学習アプリを用いて意欲を高める。
	35	(知及技)身の回りにある具体物の量の大きさに注目し、量の大きさの違いが分かるとともに、二つの量の大きさを比べることについての技能を身につけることができる。(C測定ア) (思判表力)量に着目し、二つの量を比べる方法が分かり、一方を基準にして他方と比べることができる。(C測定イ) (学・人)数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養うことができる。(小2段階)	(知・技)身の回りの具体物の長さや大きさに注目し、それらの違いが分かり、比べようとしている。 (思・判・表)具体物を操作し、二つの長さや大きさを比べたり、一方を基準として他方と比べようとしている。 (主学)具体物を操作する楽しさを味わい、興味関心をもって学習に取り組もうとしている。	【測定】 単元1「ながいとみじかい」 ・一番長い物を探そう ・一番短い物を探そう ・同じ長さを探そう ・長さクイズをしよう 単元2「おおきいとちいさい」 ・一番大きい物を探そう ・一番小さい物を探そう ・同じ物を探そう 単元3「比べてみよう」 ・二種類のをを比べてみよう ・比べ方について	・「長い・短い」という言葉の意味を確認する。 ・えんぴつ、モール、ひも、リボンなどの具体物を直接比べ、どれが一番長い(短い)か予想した後に長さを比べる。 ・身の回りの具体物から長いもの、短いものを探す。 ・「大きい・小さい」という言葉の意味を確認する。 ・数種類の形を用意し、その中から大きいものや小さいもの、同じ大きさのものを探す ・比較する対象となるものの比べ方について確認する。

3 学 期	24	(知及技) 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すことができる。(A数と計算(ア) ㊟) (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。(A数と計算(イ)) (学・人)具体物での操作を通して、数の多面的な見方や表し方に関心を持ち、楽しみながら学ぶことができる。(小2段階)	(知及技) 具体物を操作しながら、10以下の同士の二つの数を一つの数にまとめたり、一つの数にまとめたりして表している。 (思判表力)操作した具体物を数え、答えを数を示して表現したり、言葉で伝えたりしている。 (学・人)具体物での操作を通して、数の分解に関心を持ち、楽しみながら学習に取り組んでいる。	【数と計算】 单元1「合わせてみよう」 ・具体物を操作しながら数えよう ・数字を見てイメージしてみよう ・友達と合わせてみよう 单元2：「分けてみよう」 ・具体物を操作しながら考えよう ・数字を見ながら当てはまる数を考えよう	・具体物と数字カードを使用して、数字と数量が一致しているか確認する。 ・具体的を操作しながら、声に出して数え、数字で表記する。 ・「○と△で□です」と声に出してみる。 ・ゲームを通して、自分の得点とペアの友達の得点を合わせてみる。 ・具体物と数字カードを使用して、全体の数が一致しているか確認する。 ・具体物を操作しながら、数が2つの数に分解されていくことの理解を促す。 ・「□は○と△です」と声に出してみる。
	16	(知及技) 身の回りのものや身近な出来事のつながりに関心を持ち、それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法をについての技能を身に付けることができる。(Dデータの活用ア) (思判表力)身の回りのものや身近な出来事のつながりなどの共通の要素に着目し、簡単な表やグラで表現することができる。(Dデータの活用イ) (学・人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養うことができる。(小2段階)	(知・技) ゲームの結果を得点表に数字を書いたり、シールを貼ったりしようとしている。 (思・判・表)ゲームの結果を得点表やグラフに示し、友達の結果と比較しようとしている。 (主学)数量やグラフに関心を持ち、数の同等や多少を判断する楽しさを感じながら、興味をもって学ぼうとしている。	【データの活用】 单元1「ゲームをして得点を数えよう」 单元2「数字を簡単な絵や図に表そう」	・玉入れやボウリング、魚釣りなどのゲームを行い、シールを貼って得点を表したり、数字を書いたりする。 ・色々なゲームの結果を記録したり、簡単な記号を用いて表に記入したりする。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 小学部 4年（ II 課程（グループ）算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	4 学年 11名		さんすう☆ 絵本

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的な概念や性質などに気づき理解するとともに、日常の事象を数量や図形に着目して処理する技能を身に付けることができる。(第1段階) (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的な数量や図形の性質などに気づき感じ取ることができる。(第1段階) (学・人)数学的活動の楽しさに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けようとするすることができる。(第1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (6 3)	32	(知及技)身の回りのものに気づき、対応させたり、組み合わせたりすることなどについての技能を身に付けるようにすることができる。(A数量の基礎ア) (思判表力)身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心をもって関わる力を養うことができる。(A数量の基礎イ) (学・人)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技)身の回りの物に気づき、対応させたり、組み合わせたりの操作をしている。 (思・判・表)具体物を二つに分類している。 (主学)具体物を操作する際に、自ら学習に取り組もうとしている。	【数量の基礎】 単元1「わけてみよう」 ・玉入れ(紅白分け) ・絵カード仲間わけ	・二つに分けてみよう。 ①赤白の玉を分ける。(玉入れゲーム) ②二つの絵カードを分ける。
	31	(知及技)5までの範囲で数唱をすることができる。(B数と計算ア) (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気づき、それらを学習や生活で生かすことができる。(B数と計算イ) (学・人)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技)数唱したり、指で数を表している。 (思・判・表)教師と一緒に数えながら決められた数の具体物を、お皿に配っている。 (主学)具体物を操作する際に、自ら学習に取り組もうとしている。	【数と計算】 単元1「数を数えよう」 ・数字のそうぞう ・絵カード 単元2「配ってみよう」 ・お菓子を配る	単元1 ・5までの数字 「数字のそうぞう」の歌と絵カードに合わせて5までの数字を数唱したり、数字を指で表す。 単元2 ・お皿に配ってみよう 並べられたお皿にお菓子を言われたずつ配る。(3個まで)
2 学期 (7 4)	23	(知及技)形を観点に区別することができる。(C図形ア) (思判表力)ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似した物に気づき、日常生活の中で関心を持つことができる。(C図形イ) (学・人)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技)形を観点に区別している。 (思・判・表)身近な物を見たり触ったり操作しながら形に着目している。 (主学)様々な物を分類すること、に、自ら学習に取り組もうとしている。	【図形】 単元1「上下」 単元2「前後」	単元1 ・型はめ遊びをしよう。 型はめパズルや型はめのブロック遊びをして、回転させながらいろいろな方向から形を見してみる。 ・間違い探し 黒板に貼られた絵(上下逆)を正しく直してみる。 単元2 ・どこが変？ 洋服の前後ろ逆に注目して直す。 ・絵本の読み聞かせ 「後ろにいるのだあれ」の絵本を読んで、前後や上下にいる動物に注目する。 ・列になろう 列車ごっこをして、前後を意識して並ぶ。
	23	(知及技)5までの範囲で数唱をすることができる。(B数と計算ア) (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気づき、それらを学習や生活で生かすことができる。(B数と計算イ) (学・人)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技)数唱したり、指で数を表している。 (思・判・表)教師と一緒に数えながら決められた数の具体物を、かごに入れている。 (主学)具体物を操作する際に、自ら学習に取り組もうとしている。	【数と計算】 単元1「数を数えよう」 ・数字のそうぞう ・絵カード 単元2「配ってみよう」 ・牛乳パック	単元1 ・5までの数字 「数字のそうぞう」の歌と絵カードに合わせて5までの数字を数唱したり、数字を指で表す。 単元2 ・牛乳当番やってみよう 箱や数字で印の書かれたかごの中に一つずつ牛乳を入れて取り、机に一つずつ配る。

	22	(知及技)身の回りにあるものの量の大きさに気付くことができる。(D測定ア) (思判表力)身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別することができる。(D測定イ) (学・人)数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組むことができる。(1段階D測定ウ)	(知・技)大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別している。 (思・判・表)対象物を自ら手に取り、同じか違うかの用語に注目して表現している。 (主学)用意されているものに気付き、自ら学習に取り組もうとしている。	【測定】 単元1 「おなじ、ちがう」 ・パン ・ペットボトル ・おりがみ ・のり	・具体物や半具体物を使い、「同じ」「違うに」区別する。 ・教師が、「同じ」「違う」を分けている場面と一緒に見たり、操作したりする。 ・「同じ」「違う」を、一人でできる児童は区別してみる。
3 学期 (4 8)	22	(知及技)形が同じ物を選ぶことができる。(C図形ア(ア)ウ) (思判表力)ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似した物に気付き、日常生活の中で関心を持つことができる。(C図形(イ)イ) (学・人)図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組むことができる。(1段階C図形ウ)	(知・技)身近なものの形の違いに気付き、同じ物同士で分けている。 (思・判・表)形や色の違う2種類の具体物を操作し、分類している。 (主学)様々な物を分類すること、に、自ら学習に取り組もうとしている。	【図形】 単元1「同じマークはどれでしょう」 ・果物3種 ・動物 単元2「同じ形はどれだろう」 ・○△□を分ける ・○はどれかな？ ・△はどれかな？ ・□はどれかな？	単元1 ・同じものの場所へ、教師と一緒に持って行く。一人でできる児童は、同じイラストのところへカードを持って行く。 単元2 ・形や色で二つのかごに分ける。 ・「まる」「さんかく」「しかく」のパワーポイントを使って、イメージをつかむ。 ・用意された具体物、○△□を3つの箱に分ける。 ・丸い形を教室から探す。 ・三角な形を教室から探す。 ・四角の形を教室から探す。 (教室からの、丸、三角、四角の形探しが難しそうであれば、具体物で用意し、そこから選択できるように準備する)
	22	(知及技)身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を身に付けることができる。(D測定ア) (思判表力)身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別することができる。(D測定イ) (学・人)数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組むことができる。(1段階D測定ウ)	(知・技)ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないについての感覚を身に付けている。 (思・判・表)大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現している。 (主学)進んで学習に取り組み、具体物を操作しようとしている。	【測定】 単元1「ある・ない」 ・食べ物 ・水 ・鉛筆や消しゴム 単元2「大きい・小さい」 ・大人と子ども ・ペットボトル ・粘土 ・砂 ・葉っぱ 単元3「多い・少ない」 ・ペットボトル ・コップに入れた水 ・玉入れ	単元1 ・身の回りに実際に使っている物の、「ある」「ない」を教師と一緒に、復唱していく。 ・教師と一緒に具体物を操作し、「ある」「ない」を体験していく。 ・発表 単元2 ・極端な対象物を用意し、教師と一緒に復唱する。 ・教師と一緒に具体物を操作し、「大きい」「小さい」を体験していく。 ・外の活動を取り入れ、砂場で大きい山や小さい山を作る。 ・落ち葉で大きい小さいを見つける。 単元3 ・同じ大きさのコップ(透明)を2つ用意し、量を極端に入れ、多少の違いを体験する。 ・実際に飲み物を用意し、多少の飲み物を選ぶ。 ・玉入れ競争を遊びで行い、多少の違いを体験する。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 小学部 4年（ II課程 dグループ ）算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	4 学年 5 名		さんすう☆ 絵本

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的な概念や性質などに気づき理解するとともに、日常の事象を数量や図形に着目して処理する技能を身に付けることができる。(第1段階) (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的な数量や図形の性質などに気づき感じ取ることができる。(第1段階) (学・人) 数学的活動の楽しさに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けようとするすることができる。(第1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (63)	21	(知及技) 具体物に気づいて隠されたものを探したり、身近にあるものや人の歯を聞いて指で指したりすることができる。(A数量の基礎ア(ア)㉔) (思判表力)身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心をもって関わる力を養うことができる。(A数量の基礎イ) (学・人)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技)身の回りの物に気づき、協応したり、対応せたりしている。 (思・判・表)具体物を操作したことから、自分で感じとったことを表現しようとしている。 (主学)具体物を操作する際に、自ら学習に取り組もうとしている。	【A数量の基礎】 単元1『よくみよう』 『よく触ろう』	『よく見よう』 ・ボール落としをしよう・目で追いかけよう ・矢印を指さそう(あっちみてホイ) ・数字のうた(パネルシアターなど) ・いないいないばあそび・人形のかくれんぼ ・どこにあるかな?探してみよう。 『よく触ろう』 ・何が入っているのかな?(触感覚を使って取る) ・体たいそう(上下前後)
	20	(知及技)ものとももの対応させたり、絵カードを組み合わせたることができる。(A数量の基礎イ(ア)㉕㉖) (思判表力)ものとももの関連付けることに注意を向け、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。(A数量の基礎イ(イ)㉗) (学・人)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技)ものとももの対応させたり、絵カードを組み合わせたろうとしている。 (思・判・表)ものとももの対応させ、具体物を操作したことから、自分で感じとったことを表現しようとしている。 (主学)具体物を操作する楽しさやよさを感じながら、関心をもって学習に取り組もうとしている。	【A数量の基礎】 単元2『誰の家かな』	『誰の家かな』 ・お友達に渡してごらん(友達の写真と本人のマッチング) ・同じものを集めた〇〇家族(例:象さん家族) ・仲間を集めた〇〇仲間(例:動物仲間)
	20	(知及技)ものの有無に気づくことができる。(B数と計算ア(ア)㉘) (思判表力)具体物を集めたり並べたりしながら操作し、有無の表現ができる。(B数と計算ア(イ)㉙) (学・人)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技)ものの有無に気づくこうとしている。 (思・判・表)具体物を集めたり並べたりしながら操作し、有無の表現しようとしている。 (主学)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組もうとしている。	【B数と計算】 単元3『あるの?ないの?』	『あるの?ないの?』 ・身の回りに実際に使っている物の「ある」「ない」を教師と一緒に、復唱していく。 ・教師と一緒に具体物を操作し、「ある」「ない」を体験していく。 ・見本通りにお膳に並べ、『ないもの』に気づき、ぴったり同じように配置する。
2 学期 (74)	19	(知及技)1対1対応させて配ることができる。(A数の基礎イ(ア)㉚) (思判表力)具体物を操作しながら、ものと量の関係に注目して表現することができる。(A数量の基礎イ(イ)㉛) (学・人)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技)1対1対応させて配ろうとしている。 (思・判・表)具体物を操作しながら、ものと量の関係に注目して表現しようとしている。 (主学)具体物を操作する楽しさやよさを感じながら、関心をもって学習に取り組もうとしている。	【A数の基礎】 単元1『ぴったり配ろう』	『ぴったり配ろう』 ・ペンを組み立てよう ・1個ずつ置こう(ぴったり) 『ぴったりお買い物しよう』 ・お人形におやつを配ろう ・お皿に配ろう

2 学 期 （ 7 4 ）	17	(知及技) 形を観点に区別したり、形が同じものを選んだり、似ている二つのものを結びつけることができる。(C図形ア(ア)㉠㉡㉢) (思判表力)ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似した物に気付き、日常生活の中で関心を持つことができる。(C図形ア(イ)㉣) (学・人)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技) 形を観点に区別している。 (思・判・表) 身近な物を見たり触ったり操作しながら形に着目している。 (主学)様々な物を分類することに、自ら学習に取り組もうとしている。	【C図形】 単元2『おなじだね・にているね・なかまだね』	『おなじだね』 ・同じ形、色、大きさを集める。 『にているね』 ・似ている形、色を集める。 『なかまだね』 ・コップとお皿、動物など身近な仲間集めをする。
	20	(知及技) 5までの範囲で数唱をすることができる。(B数と計算ア) (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(B数と計算イ) (学・人)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技) 数唱したり、指で数を表している。 (思・判・表)教師と一緒に数えながら決められた数の具体物を取ろうとしている。 (主学)具体物を操作する際に、自ら学習に取り組もうとしている。	【B数と計算】 単元3『数を数えよう』 ・数字のそうぞう ・絵カード 単元4『お店屋さんごっこ』	『数を数えよう』 ・5までの数字(数唱) ・1, 2, たくさん(数量) 「数字のそうぞう」の歌と絵カードに合わせて5までの数字を数唱したり、数字を指で表す。 『お店屋さんごっこ』 ・絵カードの量と具体物のマッチングをする。
	18	(知及技) 身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動を通して、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して区別することができる。(D測定ア(ア)㉦) (思判表力)大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。(D測定ア(イ)㉧) (学・人)数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。	(知・技) 具体物を比較して、「大きい・小さい」「多い・少ない」を区別しようとしている。 (思・判・表)具体物の比較から「多い・少ない」「大きい・小さい」を表現しようとしている。 (主学)具体物を選択する際、自分から選択しようとしている。	【D測定】 単元5『大きい・小さい』 ・大人と子ども ・ペットボトル ・粘土 ・砂 ・葉っぱ など	『大きい・小さい』 ・極端な対象物を用意し、教師と一緒に復唱する。 ・教師と一緒に具体物を操作し、「大きい」「小さい」を体験していく。 ・外の活動を取り入れ、砂場で大きい山や小さい山を作る。 ・落ち葉で大きい小さいを見つける。
3 学 期 （ 4 8 ）	20	(知及技)○△□を提示し、似ている形を選ぶことができる。(C図形ア(ア)㉣) (思判表力)ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似した物に気付き、日常生活の中で関心を持つことができる。(C図形ア(イ)㉦) (学・人)図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組むことができる。(1段階C図形ウ)	(知・技) 身近なものの形の違いに気付き、○△□と似ている語りを選ぼうとしている。 (思・判・表)身近なものの属性②着目して、類似した形のものに気づき、表現しようとしている。 (主学)様々な物を分類することに、自ら学習に取り組もうとしている。	【C図形】 単元1「同じ形はどれだろう」 ・○△□を分ける ・○はどれかな？ ・△はどれかな？ ・□はどれかな？	『同じ形はどれだろう』 ・形や色で二つのかごに分ける。 ・「まる」「さんかく」「しかく」のパワーポイントを使って、イメージをつかむ。 ・用意された具体物、○△□を3つの箱に分ける。 ・丸い形、三角な形、四角い形に似ているものに分けよう。(例：アンパンマンは丸い形、おにぎりマンは三角な形など) ・三角な形を教室から探す。 ・四角の形を教室から探す。 (教室からの、丸、三角、四角の形探しが難しそうであれば、具体物で用意し、そこから選択できるように準備する)
	20	(知及技) 身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動を通して、『多い・少ない』の用語に注目して区別することができる。(D測定ア(ア)㉦) (思判表力)『多い・少ない』で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。(D測定ア(イ)㉧) (学・人)数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。	(知・技)『大きい・小さい』についての感覚を身に付けている。 (思・判・表)『多い・少ない』で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現している。 (主学)進んで学習に取り組み、具体物を操作しようとしている。	【D測定】 単元2『多い・少ない』 ①多く入っている皿、少なく入っている皿の比較 ②ジュースでカンパイしよう。 ③玉入れ大会	『多い・少ない』 ①皿に食べ物入れて比較したり、ビーズなどを入れて比較したりし、『多い・少ない』の用語の意味理解を促す。 ②同じ大きさのコップ(透明)を2つ用意し、量を極端に入れ、多少の違いを体験する。 ・実際に飲み物を用意し、多少の飲み物を選ぶ。 ③玉入れ競争を遊びで行い、多少の違いを体験する。
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 小学部 4年（Ⅱ課程 aグループ）音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4学年 17名		おんがく☆☆ ○共通教材(歌唱)

目標：(知及技)知識及び技能

(思判表力)思考力、判断力、表現力等

(学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能

(思・判・表)思考・判断・表現

(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けることができる。（小2段階） (思判表力) 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができる。（小2段階） (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする事ができる。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	15	(知及技) 曲の特徴的なリズムと旋律に気付き、範唱を聴いて、曲の一部分を模唱することができる。（小2段階A表現ア（ウ）ア） (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。（小2段階A表現ア（ア）） (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、歌おうとすることができる。（小2段階）	(知・技) まねをしてみようと声を出したり、曲の歌詞に使われている言葉の一部分を歌ったり、曲の抑揚をまねて声を出したりしている。 (思・判・表) 好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌っている。 (主学) 曲中の発声する箇所を期待したり、何度も声を出そうとしたりしようとしている。	【歌唱】 単元1「歌に親しもう」	・歌詞を確認しながら、イメージしやすいように絵や写真を用いて、出てくる生き物や季節を感じる。 [1 学期] ・校歌 ・雨だれ『おんがく☆☆』 ・月桃 ・南の島のハメハメハ大王『おんがく☆☆』 ・手のひらを太陽に ・うみ [2 学期] ・うさぎ『おんがく☆☆』（9月） ○ひらいたひらいた『おんがく☆☆』（9月） ○ゆうやけこやけ（11月） ○むしのこえ（11月） ・あわてんぼうのサンタクロース ・おしょうがつ(12月) [3 学期] ○日のまる『おんがく☆☆』 ・ゆき(2月)『おんがく☆☆』 ☆たこあげ ☆まめまき ☆ひなまつり ○春が来た(3月)
	15	(知及技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付くとともに、身近な打楽器を演奏することができる。（小2段階A表現イ（ウ）イ） (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。（小2段階A表現イ（ア）） (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、鳴らしてみようとする事ができる。（小2段階）	(知・技) 教師の合図を手掛かりに、それに合わせて一緒に演奏している。 (思・判・表) 自分で楽器をたたいたり振ったり弾いたりして、意図的に音を出している。 (主学) 操作したい打楽器を自ら選び、音楽活動に取り組もうとしている。	【器楽】 単元1「リズムで遊ぼう」 単元2「演奏しよう」 単元3「リズムで遊ぼう」	・楽器の名前や持ち方、鳴らし方を知る。 ・教師の動きを模倣したり、曲や合図に合わせてたりしながら楽器を鳴らす。 [1 学期] ・リズム打ち（タンバリン） ・たぬきのたいこ『おんがく☆☆』 ・かえるの合唱 [2 学期] ・紅芋娘エイサー ・ジングルベル タンバリンや木琴をうつ ・ぶんぶんぶん ・おんがく☆☆p60「どれみのうた」 [3 学期] ・おもちゃのちゃちゃちゃ『おんがく☆☆』

年間を通して	10	(知及技) 音のつなげ方の特徴に気付くとともに、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくることができる。(小2段階A表現ウ(ウ)イ) (思判表力) 音遊びを通して、音の面白さに気付くとともに、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。(小2段階A表現ウ(ア)) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音をつなげようとするすることができる。(小2段階)	(知・技) 表示している音を選び、音をつなげて表現している。 (思・判・表) リズムを模倣したり、言葉を唱えたり、そのリズムを打ったりする遊びから、気に入った音を見付けている。 (主学) 教師や友達と一緒に、音楽を作っていく面白さや楽しさを味わおうとしている。	【音楽づくり】 単元1「打楽器に挑戦」 単元2「日本の歌」	・音が大きくならないように、自分の鳴らす音の大きさを考えて打つ。 ・「タンタンタンウン」「タタウンタン」のリズムを打つ。 ・「食べ物」「乗り物」等、好きな言葉を用いて、リズム打ちをする。 ・音をつなげて楽しむ。 [1学期] ・てをたたきましょう [2学期] ・おんがく☆☆p.16 2つの音、3つの音の言葉遊び [3学期] ・リズムをくみあわせよう『おんがく☆☆』
	15	(知及技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付くとともに、示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(小2段階A表現工(ウ)ア) (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階A表現工(ア)) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、身体で表現してみようすることができる。(小2段階)	(知・技) 教師や友達と一緒に、小さな動きや大きな動きをしている。 (思・判・表) リズムを感じ取り、思い思いに体を動かしている。 (主学) 教師や友達と一緒に、リズムをとったり、体を動かして表現しようとしている。	【身体表現】 単元1「音楽に合わせて体を動かそう」 単元2「ドレミとなかよし」 単元3「ひょうげんしてみよう」	・軽快なリズムに合わせて楽しむ。 ・イラストや教師の示範を見て、体を揺らしたり、手足を動かしたり、ジャンプをしたりするなどの全身を使った身体模倣 一年を通じて「きみとチャレンジ」 [1学期] ・アメリカンパトロール ・できっこないをやらなくちゃ ・トライエブリシング ・おやつをたべよう [2学期] ・タッタ ・ハロウィンダンス ・ハッピークリスマス [3学期] ☆できっこないをやらなくちゃ ☆トライエブリシング ☆タッタ
	15	(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。(小2段階Bア(イ)) (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。(小2段階Bア(ア)) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、聴こうとすることができる。(小2段階)	(知・技) 好きな音色や、楽器の音を見付けている。 (思・判・表) 演奏を見たり、体を動かして聴いている。 (主学) 演奏している人を見たり、次の音を期待して待っていたりと、演奏を聴こうとしている。	【鑑賞】 単元1「いろいろな音を楽しもう」 単元2「季節の音楽を聴こう」 単元3「日本のうた」	・曲の中でのセリフを言ったり、手拍子などでリズムを取ったりしながら、体全体で曲の雰囲気を感じ、自分なりの楽しさを見つける。 ・特徴的な音やリズムに興味を持って聴く。 ・曲の雰囲気を感じながら、自分なりに体を動かして表現する。 [1学期] ・このおと なんだ(楽器クイズ) ・おかあさん(パネルシアター) ・ねこのお医者さん(パネルシアター) ・シンコパーテッドクロック [2学期] ・エイサー ・ていんさぐぬ花 ・はいさいおじさん ・あさどやゆんた ・とうしんドーい [3学期] ・あかたすんどうんち『おんがく☆☆』 ・じんじん
	留意点 引継ぎ等				

令和 5 年度 小学部 4 年（Ⅱ課程bグループ）音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4学年 12名		おんがく☆ おんがく☆☆

目標：(知及技)知識及び技能(思判表力)思考力、判断力、表現力等(学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能(思・判・表)思考・判断・表現(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けることができる。(小2段階)			
		(思判表力) 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができる。(小2段階)			
		(学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする事ができる。(小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	15	(知及技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付き、範唱を聴いて曲の一部分を模唱することができる。(小2段階A表現ア(イ)－イ／(ウ)－ア) (思判表力)好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階A表現ア(ア)) (学・人)音や音楽に楽しく関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、歌おうとすることができる。(小2段階)	(知・技) 曲に使われている特徴的な言葉に気付いて、一部の声に出したり、歌ったりすることができた。 (思・判・表)曲に合わせて発声したり、旋律の一部分を歌ったりして、自分なりの表現ができた。 (主学)自分から声を出したり、歌詞の一部分を模唱したり、自分なりの表現方法で歌おうとしていた。	【歌唱】 単元1：声を出してみよう 単元2：みんなで 歌おう	・教師の示範を見聴きしながら、特徴的なリズムや繰り返される歌詞の一部分を捉えて自分なりの方法（発声・模唱・身振りなど）で歌う学習 [1学期] ・やまびこごっこ ・アイアイ [2学期] ・まつぼっくり ・世界中の子ども達が [3学期] ・カレーライス
	15	(知及技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付くとともに、身近な打楽器を演奏することができる。(小2段階A表現イ(ウ)イ) (思判表力)身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(小2段階A表現イ(ア)) (学・人)音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、鳴らしてみようとする事ができる。(小2段階)	(知・技) 特徴的なリズムに気付き、リズムよく楽器を鳴らすことができた。 (思・判・表)曲や教師の合図に合わせてながら、楽器を鳴らそうとしている。 (主学)楽器に興味を持ち、自ら選んだり、鳴らしてしてみようとしている。	【器楽】 単元1：楽器を鳴らそう 単元2：リズムを合わせよう	・楽器の名前や持ち方、鳴らし方を知る。 ・教師の動きを模倣したり、曲や合図に合わせてたりしながら楽器を鳴らす。 [1学期] ・マンボN05 ・ジェットコースター [2学期] ・大きなたいこ 小さなたいこ ・どんぐりさんのおうち ・虫の声 [3学期] ・しろくまのジェンカ ・とんくるりん ぱんくるりん
	10	(知及技) 声や身の回りの様子など音の特徴に気付くとともに、音を選んだりつなげたりして表現することができる。(小2段階A表現ウ(イ)－ア／(ウ)－ア) (思判表力)音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。(小2段階A表現ウ(ア)－ア) (学・人)様々な音に触れ、音への意識や興味・関心をもつことができる。(小2段階)	(知・技) 生活の中にある身近な音の存在に気付き、何の音が当てたり、好きな音を選んだりすることができた。 (思・判・表)教師の支援を受けながら、速さや強弱、リズムを変えて表現することができた。 (主学)思い思いに楽器等を鳴らしたり、楽器に挑戦したりして、関心をもって学習に取り組むことができた。	【音楽づくり】 単元1：ことばとリズム 単元2：いろいろな音を ならしてみよう	・リズムを模倣したり、言葉を唱えたり、そのリズムを打ったりする学習 ・生活の中にある身近な音の存在に気付き、それぞれの音の特徴や違いを聴き分けたり、自分の好きな音を探したりする学習 [1学期] ・子象の行進 [2学期] ・〇〇の音を 鳴らしてみよう ・いろいろな音
	15	(知及技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付くとともに、示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(小2段階A表現エ(ウ)－ア) (思判表力)簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階A表現エ(ア)) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、身体で表現してみようすることができる。(小2段階)	(知・技) 示範を見て模倣したり、特徴的なリズムを意識したりしながら、手足や身体全体を動かすことができた。 (思・判・表) 音楽に合わせて、体の動きの大小などを変えて表現することができた。 (主学)教師や友達と一緒に、リズムをとったり、体を動かして自分なりの表現方法で表現しようとしている。	【身体表現】 単元1：音楽に合わせて 身体を動かそう 単元2：わらべうた	・軽快なリズムに合わせて楽しむ。 ・イラストや教師の示範を見て、体を揺らしたり、手足を動かしたり、ジャンプをしたりするなどの全身を使った身体模倣 [1学期] ・きみと チャレンジ ・チャオ チャオ チャオ [2学期] ・おてんとサンサン ・ハッピークリスマス [3学期] ・なべなべそこぬけ ・ぞうさんと くものす

	15	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。(小音1段階B鑑賞ア-(イ)) (思判表力) 音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとする ことができる。(小音1段階B鑑賞ア-(ア)) (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみよう することができる。(小1段階)	(知・技) 音楽を聴いて、使われている楽器や出て動物などを選ぶ ことができた。 (思・判・表) 歌やお話を見聴きしながら、声を発したり、歌ったり、動作を真似したりして楽しむ ことができる。 (主学) 教師と一緒に、音楽に合わせて体を動かしたり、リズムを取ったりするなど、自分なりの 楽しみ方で学習に参加しようとしている。	【鑑賞】 単元5：絵を見てお話を聴こう 単元6：みみをすまそう	・曲の中でのセリフを言ったり、手拍子などでリズムを取ったりしながら、体全体で曲の雰囲気を感じ、自分なりの楽しさを見つける。(パネルシアターなど) [1学期] ・牧場の合唱団 ・あめふりくまのこ ・海のうたを歌おう [2学期] ・すてきな帽子屋さん ・マリーのうちへ [3学期] ・こんこん くしゃん ・特徴的な音やリズムに興味を持って聴くこと。 [1学期] ・月桃 [2学期] ・うみ ・シンコパーテッドクロック [3学期] ・おもちゃのへいたい ・魔女の宅急便
留意点 引継ぎ等					

令和 5年度 小学部 4年（ II 課程 ） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4年 30名		技法遊び実践ライブ

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることことができる。（小学部2段階） (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることことができる。（小学部2段階） (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、楽しく豊かな生活を創造しようとする ことことができる。（小学部2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	【A表現】 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、 (知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすること ができる。(A表現ア(イ)) (思判表力)材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと ができる。(A表現ア(ア))	(知・技)筆記用具を用いて、形や色を工夫して描こうとしている。 (思・判・表)表したいことを考えようとしている。 (主学)(主学)進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「誕生表を作ろう」 「学級目標を作ろう」	・ぼく・私の似顔絵等（自画像） ・ケーキやろうそくを作ろう。 ・学級目標の台紙を作ろう。 材料：画用紙、写真などを印刷した紙 用具：はさみ、のり
	6	(学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わる ことにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（2段階）	(知・技) 筆記用具を用いて、形や色を工夫して描こうとしている。 (思・判・表) 表したいことを考えようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「ポスターを作ろう」	・水道のポスター作り。 ・虫歯予防ポスター作り。 用具：クレヨン、クーピー、水彩絵の具、筆、はさみ、のり、ボンドなど。
	7		(知・技) 様々な素材を使って、形をつくろうとしている。 (思・判・表) 題材の意味を理解し、表したいことを表現しようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「気持ちをこめてつくろう」	・母の日、父の日のプレゼントをつくろう。 材料：画用紙、折り紙など 用具：水彩絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど
	6		(知・技) 紙、はさみ、のりなどに慣れ、描いたり形をつくろうとしている。 (思・判・表) 色紙などを切ったり、折ったりして、丸や三角、四角の形を組み合わせようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「季節の飾りを作ろう①」	・あじさい、七夕等 ・紙を切って、いろいろな形をつくろう。 材料：画用紙、折り紙など 用具：水彩絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど
	8	【A表現】 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、 (知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすること ができる。(A表現ア(イ))	(知・技) 表したい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表そうとしている。 (思・判・表) 経験を元に表したいことを見つけ、どのように表すかを考えようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「みてみて あのね」	・休みのできごとを描こう。 ・学校でのできごとを描こう。 ・お話を絵にしよう。（読書感想画） 材料：画用紙、折り紙など 用具：水彩絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど

2 学期		7	(思判表力)材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。(A表現ア(ア)) (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(2段階)	(知・技) 版を並べたり重ねたりして写すことを通して映るものの形や色の美しさや面白さに気づくことができる。 (思・判・表) 完成を想像して、期待感を持って製作をしようとしている。 (主学) 版で写すことを楽しむことができる。	「モダンテクニックを使って」	・版に表そう。 (スタンピング、ローラー版画、いも版画など) ・削ったり、こすったりしよう(スクラッチ、こすりだしなど) 材料:画用紙、とりのこ用紙など 用具:水彩絵の具、クレヨンやクーピー、こすり出し用の棒、吹き流し用のストローなど
		6		(知・技)・手指を使ってねん土をこねたり、ちぎったり、まるめたりしようとしている。 (思・判・表)表したいことを思いついたり、楽しさを感じとったりしている。 (主学)・友達作品のおもしろさを感じようとしている。	「粘土あそび」	・ねん土をまるめたり、ちぎったり、のぼしたり、重ねたりしよう。 ・ねん土動物園を作ろう。 材料:油粘土、カラー紙粘土など 用具:手指、へら、いろいろな形の型抜きなど
		7		(知・技) 紙、はさみ、のりなどに慣れ、描いたり形をつくろうとしている。 (思・判・表) 色紙などを切ったり、折ったりして、丸や三角、四角の形を組み合わせようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「季節の飾りを作ろう②」	・落ち葉スタンプ、クリスマス等 材料:画用紙、ラミネート用紙、空き箱、紐、紙袋、粘土、草木や落ち葉など 用具:クレヨン、クーピー、水彩絵の具、筆、はさみ、のり、ボンドなど。
3 学期		8	【A表現】 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、 (知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。(A表現ア(イ))	(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりしようとしている。 (思・判・表) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付き、表そうとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「季節の飾りを作ろう③」	・正月、ひなまつり等 材料:画用紙、折り紙など 用具:水彩絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど
		6	(思判表力)材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。(A表現ア(ア)) (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(2段階)	(知・技) 紙、はさみ、のりなどに慣れ、描いたり形をつくろうとしている。 (思・判・表) 色紙などを切ったり、折ったりして、丸や三角、四角の形を組み合わせようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「卒業式の壁面制作」	・似顔絵を描こう 材料:画用紙、折り紙など 用具:水彩絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど
		4		(知・技) 筆記用具を用いて、形や色を工夫して描こうとしている。 (思・判・表) 表したいことを考えようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「作品集をつくろう」	・1年間の制作物を作品集にまとめ、鑑賞する活動を行う。 材料:画用紙、折り紙など 用具:水彩絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど
年間を通して			【鑑賞】 身の回りにあるものや自分たちの作品などを鑑賞する活動を通して、 (知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色の違いに気づくことができる。(共通事項ア(ア)) (思判表力)身近にあるものなどの形や色、作品の面白さや楽しさを感じ取ることができる。(2段階、B鑑賞ア(ア)) (学・人)形や色に関わりながら、楽しんで鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じることができる。(2段階)	(知・技) 自分や友達作品を見たり触ったりして感じたことを通して、形や色の違いに気づいている。 (思・判・表)自分や友達作品を見たり触ったりして、作品の面白さや楽しさを感じ取っている。 (主学)進んで作品を見たり、触ったり、作品について話したり、楽しく鑑賞の活動に取り組もうとしている。	僕の作品、私の作品	・教師に作品を見せたり、友達と見せ合ったりする。 ・楽しかったことや工夫したことを発表する。 ・作品を展示し、鑑賞する。 ・他学級や他学年の作品を鑑賞する。
			【共通事項】 (知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気づくことができる。(共通事項ア(ア)) (思判表力)形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。(共通事項ア(イ))	(知・技) かいたりつくったりすることを通して、形や色の違いに気づいたり、形や色を比べて選んだりしている。 (思・判・表)形や色を基にイメージをもってかいたりつくったりしている。また、偶然できた色や形からイメージをもっている。		

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

留意点	
-----	--

令和 5 年度 小学部 4年（ II 課程 ）体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	4 学年 30名		

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができる。(小学部2段階)			
		(思判表)基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝えることができる。(小学部2段階)			
		(学・人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようしたり、健康に必要な事柄をしようすることができる。(小学部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。(小2段階A体づくり運動ア)	(知及技)ラジオ体操で教師の動きを見て模倣しようとしている。	単元1「体づくり運動」 楽しく体を動かそう	・ラジオ体操、ストレッチ運動等 ・ボール遊び ・ラジオ体操 ・行進練習 ・リトミック（横に転がる、四つ這い歩き、クマ歩き、後ろ歩き、かけあし、片足立ち） ・あつまりっこ（合図を聞いて並ぶ、列に沿って並ぶ） ・ラジオ体操 ・ストレッチ運動(力を抜く、気持ちのよいところまで体を伸ばす、ペアでストレッチ等) ・綱引き(つかむ、引っ張る、踏ん張る) ・だるまさんがころんだ(いろいろな動きのまま止まる)
	8	(知及技)ア 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動やゲームをすることができる。(小2段階Eボールを使った運動やゲームア)	(知・技)逃げる相手を追いかけてタッチしたり、マーク(タグなど)を取っている。	単元1「ボールを使った運動やゲーム」 ・皆で楽しくゲームをしよう	・おいかけっこ(相手の動きに合わせて走る) ・しっぽとりゲーム(相手の動きに合わせて走り、しっぽをとる)
	12	(思判表力)基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階Eボールを使った運動やゲームイ)	(思・判・表)少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。	単元1「水の中で体を動かそう」 水中リトミック、かけっこ 輪っか取りゲームなど	・水遊び(ワニ歩き、アヒル歩き) ・水中リトミック、かけっこ ・輪っか取りゲームなど ・水中運動(浮く、バタ足、走る、歩く、潜る)
	4	(学・人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な運動やゲームをしようすることができる。(小2段階Eボールを使った運動やゲームウ)	(学・人)順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。	単元1「体を大切にしよう」	・体の洗い方、拭き方。 ・体の発育について知ろう。 ・健康管理 ・衛生 ・性教育

2 学 期	18	(知及技)ア 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。(小2段階Eボールを使った運動やゲームア) (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階Eボールを使った運動やゲームイ) (学・人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようすることができる。(小2段階Eボールを使った運動やゲームウ)	(知及技)ボールをうまく操作している。 (思判表力)いろいろな種類の用具の中から好きな物を選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 (学・人)順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。	単元1「ボールを使った運動やゲーム」 ・玉入れ ・バスケットボール	・キャッチボール(投げる、キャッチ) ・玉入れ(投げる) ・バランスボール(バランスボールでバウンド・キャッチ) ・バスケットボール(ドリブル練習)
	18	(知及技)教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。(小2段階C走・跳の運動ア) (思判表力)走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階C走・跳の運動イ) (学・人)(小2段階)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようすることができる。(小2段階C走・跳の運動ウ)	(知・技)最後まで全力で走っている。 (思・判・表)折り返しリレーの感想を発表して教師や友達に伝えている。 (主学)順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。	単元1「ゴールに向かって一生懸命走ろう」 ・最後まで諦めずに走ろう	・30mかけっこ(バトンを持って真っ直ぐ走る) ・折り返しリレー(バトンを持って走り、コーンでUターンして走る) ・リレー(優しく相手にバトンを渡す)
	6	(知及技)教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。(小2段階G保健ア) (思判表力)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えることができる。(小2段階G保健イ) (学・人)教師の話聞いて理解し、自ら健康に必要な事柄をしようすることができる。(小2段階G保健ウ)	(知・技)体調の悪い時やケガをして痛みを感じていることを教師等に知らせている。 (思・判・表)「健康な生活に必要な事柄」を簡単な言葉掛けや日課の流れに応じて自ら行動している。 (主学)順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。	単元1「体を大切にしよう」	・体の発育について知ろう。 ・健康 ・安全 ・健康管理 ・性教育
3 学 期	10	(知及技)教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。(小2段階C走・跳の運動ア) (思判表力)走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階C走・跳の運動イ) (学・人)(小2段階)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようすることができる。(小2段階C走・跳の運動ウ)	(知・技)最後まで諦めずに走っている。 (思・判・表)直線や曲線を工夫して走っている。 (主学)順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。	単元1「持久走」 ・最後まで諦めずに走ろう	・10分間走 ・8分間走 ・5分間走
	12	(知及技)ア 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をすることができる。(小2段階B器械・器具を使つての運動ア) (思判表力)器械・器具を使つての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階B器械・器具を使つての運動イ) (学・人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使つての基本的な運動をしようすることができる。(小2段階B器械・器具を使つての運動ウ)	(知・技)マットを使った運動遊びで教師の動きを真似している。 (思・判・表)それぞれの固定施設を使つて、楽しくできる場や自分の力に合った遊び方を考え、選んでいる。 (主学)マット遊びに進んで取り組もうとしている。	単元1「器械・器具を使つての運動」 ○いろいろな動きをしてみよう	・サーキット運動(跳ぶ、走る、しゃがむ、跳ねる、四つん這い) 跳び箱、縄跳び、デコボコブロック、平均台 トンネル、竹馬 ・マット運動等(跳ぶ、転がる、前転、後転)
	5	(知及技)教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。(小2段階G保健ア) (思判表力)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えることができる。(小2段階G保健イ) (学・人)教師の話聞いて理解し、自ら健康に必要な事柄をしようすることができる。(小2段階G保健ウ)	(知・技)体調の悪い時やケガをして痛みを感じていることを教師等に知らせている。 (思・判・表)「健康な生活に必要な事柄」を簡単な言葉掛けや日課の流れに応じて自ら行動している。 (主学)順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。	単元1「体を大切に」	・体の発育について知ろう。 ・健康 ・安全 ・健康管理 ・性教育
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 小学部 4 年（ II 課程 ）道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	4 学年 30 名		『挨拶絵本』 『ひとりじめ』 『あんなに なかよし だったのに…』 『お日さまとおつきさまのけんか』

年間目標		(A：自分自身に関する事) ・よいことや悪いことの違いが分かり、わがままをしないで規則正しい生活を送り、できることは最後までやり抜こうとする態度を養う。（小2段階） (B：人との関わりに関する事) ・気持ちのよい挨拶や言葉使い、動作などに心がけ、身近にいる人と仲良くし、助け合う心を育てる。（小2段階） (C：集団や社会との関わりに関する事) ・約束や決まりを守り、手伝いや与えられた仕事に進んで取り組む態度を養う。（小2段階） (D：生命や自然、崇高な物との関わり) ・身近な自然に親しみ、動植物に優しく接する心を育てる。（小2段階）		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	・学校では、どんな楽しいことがあるかを思い起こし、新しい先生や友達に親しみ学校生活を楽しもうとする心情を育てる。	単元1 「がっこう だいすき」	・自己紹介を行う。 ・新しい先生へ挨拶に行こう！ 【関連】 特活：「学年・学級開き」
	5	・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心がけて、明るく接しようとする実践意欲と態度を育てる。	単元2 「あいさつをしてみよう」	・『挨拶絵本』などの読み聞かせ ・どんな 挨拶があるかな？ ・どんな 気持ちになるかな？ 【関連】 学校生活全般
	6	・友達と一緒に仲良く遊ぶことは、楽しいことに気付き、喜びや良さがわかる。どうしたらもっと仲良く遊ぶことができるのかを考え、たくさんの友達と楽しく遊ぼうとする実践意欲と態度を育てる。	単元3 「なかよくしようね」	・絵本の読み聞かせ 『ひとりじめ』 『あんなに なかよし だったのに…』 『お日さまとおつきさまのけんか』 など ・平和って何？
2 学期	3	・してよいことと悪いことがわることが分かる。してよいことには快の感情、してはいけないことには不快の感情を持ってしっかり区別をし、自分をコントロールしようとする実践意欲と態度を育てる。	単元4 「よいこととわるいこと」	・どんな気持ちになるかな？ ・こんなとき どうする？ 【関連】 学校生活全般
	3	・自分のやるべきことを、一生懸命最後まで取り組むことのよさや、そのために必要な「がんばる」という気持ちに気付き、やるべきことに前向きに取り組もうとする実践意欲と態度を育てる。	単元5 「さいごまで がんばる！」	・どっちが かつこいい？ ・がんばるって どんなこと？ 【関連】 特活：「学習発表会に向けて」
	3	・情報機器を使うときにはルールやマナーがあることに気付き、約束やきまりを守り、安全に情報機器を使おうとする。	単元6 「ルールが ないと どうなるの？ ースマホやゲームきを つかう ときー」	・情報機器の使用に関するルールやマナーについて確認し、理解を深める。 ・ルールについて考え、ルールの大切さについて話し合う。 【関連】 生活：「きまり」 学校生活全般
	3	・みんなが使う所や物には、きまりや約束があることがわかる。みんなが気持ちよく過ごすために、きまりや約束を守って公共物などを使おうとする実践意欲と態度を育てる。	単元7 「きまりを まもろう」	・学校のきまりや約束、守れるかな？ ・公共施設などのきまりや約束を知ろう 【関連】 特活：「校外へ出かけよう」
3 学期	4	・植物を育てたり、動物に触れ合う経験を通して、どんな気持ちで植物や動物の世話をすればいいのか考えたり、優しい気持ちで接しようとする心情を育てる。	単元8 「しぜんと なかよく」	・自然に触れてみよう 【関連】 特活：「校外へ出かけよう」 生活：「動物の飼育、植物の栽培」
	6	・気持ちの良い生活を送るためには、日常生活の中で「自分でできる」ことを、毎日続けることの大切さがわかり、日常の様々な場面で、自分できちんとやろうとする実践意欲と態度を育てる。	単元9 「まいにちを きもちよく」	・ちゃんとの達人になってみよう 【関連】 生活：「基本的生活習慣」
留意点 引継ぎ等				

令和 5年度 小学部 4年（Ⅱ課程）特別活動科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	4 学年 30名		

目標：(知及技)知識及び技能

(思判表力)思考力、判断力、表現力等

(学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能

(思・判・表)思考・判断・表現

(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)実践的な集団活動を通して、友達への関わり方について学び、望ましい人間関係が形成できる。（小2段階） (思判表力)集団の一員として学校生活に必要な係に取り組むことができる。（小2段階） (学・人)様々な集団活動を通して、よりよい学校生活を築こうとすることができる。（小2段階）		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 （1 2）	2	新しい先生、友達と「これから仲良く頑張っていこう」という気持ちを持つことができる。	進級おめでとう	・ 学年開き、学級開き ・ 1 学期頑張ろう会
	2	自分の頑張りたいことを選んだり、考えたりすることができる。 どんな学級にしたいかを考え、目標を決めることができる。	目標を立てよう	・ 学級目標を決めよう ・ 1 学期の目標決めよう（個人目標）
	2	新転入生を迎える会に向けて、分担された役割に意欲的に取り組むことができる。	ようこそ みさきへ	・ 新しい友達を迎える会に向けて
	4	学級の所属を離れ、共通の関心事をもつ友達と一緒に様々な活動に取り組む中で、交流を深めることができる。	みんなで遊ぼう ～わくわくタイム～	・ 他学級の友達との活動
	1	1 学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。	学習を振り返ろう	・ 1学期を振り返ろう（個人目標の評価） ・ 1学期頑張った会
	1	夏休みを元気に楽しく過ごすための約束を、確認することができる。	夏休みに向けて	・ 夏休みの過ごし方、約束
2 学期 （1 4）	1	2 学期の学習、行事などを知り、自分の頑張りたいことを考えることができる。	目標を立てよう	・ 2学期頑張ろう会 ・ 2学期の目標決めよう（個人目標）
	5	学級の所属を離れ、共通の関心事をもつ友達と一緒に様々な活動に取り組む中で、交流を深めることができる。	みんなで遊ぼう ～わくわくタイム～	・ 他学級の友達との活動（遊び、制作など）
	2	同世代の児童との関わりや、規模の大きな集団での活動を通して、自分の学校以外の社会と関わっていく意欲を持つことができる。	交流学习	・ 美原小学校との学校間交流
	2	みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	お楽しみ会をしよう	・ お楽しみ会を計画しよう ・ お楽しみ会
	1	2 学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。	学習を振り返ろう	・ 2学期を振り返ろう（個人目標の評価） ・ 2学期頑張った会
	1	冬休みを元気に楽しく過ごすための約束を、確認することができる。	冬休みの向けて	・ 冬休みの過ごし方
	1	3 学期の学習、行事などを知り、自分の頑張りたいことを考えることができる。	目標を立てよう	・ 3 学期頑張ろう会 ・ 3 学期の目標決めよう（個人目標）

3 学期 (9)	4	学級の所属を離れ、共通の関心事をもつ友達と一緒に様々な活動に取り組む中で、交流を深めることができる。	みんなで遊ぼう ～わくわくタイム～	・他学級の友達との活動（遊び、制作など）
	3	・児童会役員の心得などを知り、児童会への関心を高めることができる。 ・児童会役員として、頑張っている人を応援することができる。	児童会役員を決めよう	・児童会役員選挙について ・学年選挙
	1	3学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。	学習を振り返ろう	・3学期を振り返ろう（個人目標の評価）
	1	1年間を振り返り、5年生に向けて期待感を持つことができる。	もうすぐ5年生	・1年間を振り返ろう ・4年生頑張った会
	1	春休みを元気に楽しく過ごすための約束を、確認することができる。	春休みに向けて	・春休みの過ごし方
留意点 引継ぎ等				

令和5年度 小学部 4年（Ⅱ課程）外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
18		4 学年 30 人			パワーポイント
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。（２段階） (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養うことができる。（２段階） (学・人)外国語を通して、外国語の文化に触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。（２段階）			
学期	時数	単元・題材の目標 (知及技) (思判表力) (学・人)	単元・題材の評価規準 (知・技) (思・判・表) (主学)	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 英語を用いて、簡単な自己紹介やあいさつなどコミュニケーションを図ることの楽しさを知ることができる。（（１）のア） (思判表力)身近な場面や事柄について、相手の働きかけに対して、自分なりに応じようとする事ができる。 （（２）アイ） (学・人)対話的な活動を通して、外国語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	(知・技) 気分によって挨拶の表現の違いに気付く。 (思・判・表) 自分の今日の気分について、音楽や絵カード、ジェスチャーを通して自分なりに表現しようとしている。 (主学))外国語を通して、言語への関心を高め、楽しみながらALTとのやり取りをしようとしている。	単元１（会話を楽しもう） 「自己紹介しよう」 「あいさつしよう」	・時間による挨拶の表現の違いや気分の違いによる表現について学ぶ。 ・自分の今日の気分について、音楽や絵カード、ジェスチャーを通して表現する。
		(知及技) 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 (思判表力)身近で簡単な事柄について、相手の働きにに応じようとする事ができる。 (学・人) 対話的な活動を通して、外国語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	(知・技) 曜日や天気、数などを表す英単語に親しみ、コミュニケーションを図っている。 (思・判・表)身近な事柄や事象について、声に出したり、ジェスチャー等で表現したりして伝えている。 (主学) 曜日や天気、数など、身近な事柄の表現方法について、興味関心を持っている。	単元２（身近な事柄や事象） ・今日は何曜日？ ・天気はどうか？ ・数えてみよう	・ALTや教師との曜日や天気の表現方法について確認する活動。 ・カレンダーを使用したり、ジェスチャー等を使って歌に合わせた表現活動。 ・実際に天気を見たり、イラストなどを見たりして表現の仕方を学習する活動。 ・英語を用いて数える活動を、歌やダンス、映像、ゲームを通して体験的に行う活動。 ・ALTや教師が話す英単語を聞き取り、カードに印を付けたり、選んだりする活動。
2 学期	8	(知及技) 身近な事柄についての英語での表現方法を知り、音声の違いに気付くことができる。（ア、イ(ア)） (思判表力)身近なことについての英語を使ったり、自分なりに表現することができる。（ア） (学・人)身近な事柄について、自分なりに表現したり、他者と伝え合ったりすることができる。	(知・技) 色や食べ物、反対言葉についての英語での表現方法や音声の違いに気付いている。 (思・判・表)色や食べ物、反対言葉についての英語を使ったり、自分なりに表現することができる。 (主学)身近な事柄について自分なりに表現して、他者に伝えようとしている。	単元１（伝えよう） ・いろいろな色 ・どんな食べ物が好き？ ・反対言葉	・身の回りにある色を英語で表現する活動。 ・「I like ～」を使って好きな色を伝える活動。 ・イラストや写真等と活用しながら身近な食べ物を英語での表現活動を行う。 ・歌やゲームなどの活動の中で「I like～」を使って好きな食べ物を友達に伝える活動。 ・「大きい・小さい」、「速い・遅い」などの身近でよく使用する言葉についての表現方法を歌やダンス、ゲームを通して学習する活動。
		(知及技) 外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活の違いを知ることができる。（イ(イ)） (思判表力)体験的な活動を通して、外国の行事におけるやり取りやあいさつを自分なりに表現したり、相手の働きかけに応じようとする事ができる。 (イ) (学・人)外国の行事の体験を通して、他国の文化に興味関心を持つことができる。	(知・技) 外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活の違いに気付いている。 (思・判・表)体験的な活動を通して、行事におけるやり取りやあいさつを自分なりに表現したり、応じようとしている。 (主学)外国の行事の体験を通して、他国の文化に興味関心を持っている。	単元２（日本と外国の違い） ・外国の文化に触れよう ・体験してみよう	・ハロウィンやクリスマスなどの行事について、他国の様子を写真を見たり、絵本の読み聞かせを聞いたりする活動。 ・「Trick-or-treat」や「Mary christmas」などの外国の行事の挨拶を取り入れた言語活動。 ・仮装パーティーやクリスマス会などを通した体験的活動。
3 学期	4	(知及技) 外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や言語表現の違いを知ることができる。（イ(イ)） (思判表力)外国の行事におけるやり取りやあいさつを自分なりに考えて表現したり、相手の働きかけに応じようとする事ができる。(イ) (学・人)外国と日本の行事の過ごし方や文化の違いに興味関心を持つことができる。	(知・技) 外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や言語表現の違いに気付いている。 (思・判・表)行事におけるやり取りやあいさつを自分なりに考えて表現したり、応じようとしている。 (主学)外国の行事の体験を通して、他国の文化に興味関心を持っている。	単元１（日本と外国の違い） ・外国の新年 ・干支について	・新年のあいさつや干支（動物）の日本語と英語の表現の違いを見つける活動。 ・新年のあいさつの使用場面を確認する活動。 ・干支（動物）イラストを見たり、ゲームを通して日本語と英語の音声表現の違いを見つける活動。 ・他国の行事の写真や動画などを通して、日本との違いを考える活動。
		(知及技) 身近な事柄について、英単語の音声やリズムに親しんだり、日本語と英語の違いに気付くことができる。（イ(ア)） (思判表力) 身近で簡単な事柄について、英語を使って自分の考えや気持ちを表現することができる。（アイ） (学・人)身近な事柄について、自分なりに表現したり、他者と伝え合ったりすることができる。	(知・技) 身近な事柄についての英単語の音声やリズムに親しんだり、日本語と英語の違いに気付いている。 (思・判・表)声に出したり、絵カードやジェスチャーを使ったりして、身近な事柄について表現している。 (主学)身近な事柄について自分なりに表現して、他者に伝えようとしている。	単元２（自分のことを話してみよう） ・私の家族	・「fingerfamily」の曲で手遊びをしたり、簡単なゲームを通して、簡単な英単語や表現方法を学ぶ活動。 ・ALTの家族の紹介を聞いたり、絵カードを活用しながら、自分の家族の紹介をしたりする活動。

		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語の音声との違いに触れ、言葉の面白さや豊かさ、音声の違いに気付くことができる。(イ(7)) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、英語を使って自分の考えや気持ちを表現することができる。(アイ) (学・人) 外国語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	(知・技) 外国語を用いた体験活動を通して、言葉の面白さや豊かさ、音声の違いに気付いている。 (思・判・表) 身近で簡単な事柄について、英語を使って自分の考えや気持ちを表現しようとしている。 (主学) 学習した内容を振り返りながら、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。	単元3 (楽しい外国語) ・活動を振り返ろう ・1年間のまとめ	・歌やダンス、ゲームを通して、一年間学習した英単語や表現方法を復習する。 ・これまで学習してきた内容を振り返り、活用しながらALTと会話を楽しむ活動。
留意点 引継ぎ等					